

令和4年度

中頓別町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書
(ダイジェスト版)

令和5年8月

中頓別町教育委員会

目 次

1. 教育委員会の会議の開催状況	1
2. 教育委員の活動状況	3
3. 法規・規則の制定、計画等の策定状況	8
4. 附属機関等の審議概要	9
5. 令和4年度教育目標並びに施策の体系	11
・ 中頓別町教育推進計画	12
・ 第8期中頓別町総合計画	13
6. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性	15
(1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり	
① 子育て支援と幼児教育の充実	15
② 学校教育の充実	21
(2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進	
① 社会教育の充実	31
② 社会体育の充実	41
③ 地域文化の振興と文化財の保護	47
(3) 別紙資料	
別紙1 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績	52
【資料】	
○宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況	60
○社会教育関連施設の利用状況	62
○教育関係団体活動状況	
・ 体育団体関係	66
・ 文化団体関係及びその他教育関連団体関係	67

1. 教育委員会の会議の開催状況

中頓別町教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回開催しています。

この会議において、4名の中頓別町教育委員会委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議しています。

日 時	付 議 案 件 等	
4. 4. 21 (木)	議案	・学校運営協議会委員（認定こども園）の委嘱について ほか5件
	協議	・5月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか1件
4. 5. 26 (木)	議案	・令和4年度児童生徒就学援助の認定について
	協議	・6月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか1件
4. 6. 16 (木)	協議	・7月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件
4. 7. 19 (火)	議案	・中頓別町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について
	協議	・8月定例教育委員会議について
	報告	・教育行政報告 ほか2件
4. 8. 25 (木)	議案	・令和3年度中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について
	協議	・9月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件
4. 9. 26 (月)	議案	・中頓別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
	協議	・10月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件
4. 10. 28 (金)	協議	・11月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件
4. 11. 30 (水)	議案	・教育委員の辞職に対する同意について ほか1件
	協議	・12月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件
4. 12. 27 (火)	議案	・令和5年度児童生徒の適切な就学先の決定について ほか1件
	協議	・1月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件

日 時	付 議 案 件 等	
5. 1. 20 (木)	協議	・2月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか2件

5. 2. 24 (金)	議案	・令和5年度教育行政執行方針 ほか2件
	協議	・3月定例教育委員会議の日程について ほか1件
	報告	・教育行政報告 ほか2件
5. 3. 27 (月)	議案	・中頓別町立小・中学校に係る学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
	協議	・4月定例教育委員会議の日程について ほか1件
	報告	・教育行政報告 ほか2件

中頓別町教育委員会委員名簿

役 職 名	氏 名	任 期
教育長職務代理者	石井 英正	R2.10.1～R6.9.30
教育委員	小倉 弘	R3.11.1～R7.10.31
教育委員	宗像 育美	H30.12.22～R4.12.21
教育委員	澤里 優	R4.12.22～R8.12.21
教育長	相座 豊	R3.7.1～R6.6.30

2. 教育委員の活動状況

教育委員は、月1回の定例会やこども園、小・中学校の各種行事及び社会教育関係の行事へ出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

日付	曜日	活 動 内 容	場 所	出席委員名
4・4	月	認定こども園入園式 (3名)	こども園	教育長
		教職員辞令伝達式	役場	教育長、職員
4・7	木	中頓別中学校入学式 (6名)	中中	町長、教育長
4・8	金	中頓別小学校入学式 (11名)	中小	町長、教育長
4・11	月	管内教育長会議	Zoom	教育長
4・19	火	全国学力学習状況調査	小、中学校	
4・21	木	定例教育委員会、社会教育委員会	町民セ	教育長他
4・22	金	スポーツ推進委員会	町民セ	教育長、職員
4・26	火	スポーツ少年団本部役員会	町民セ	教育長、職員
4・27	水	放課後子どもプラン開校式	町民セ	教育長、職員
4・28	木	文科省「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」企画提案採択		
5・9	月	道教委、三好道議へ上記採択報告、挨拶	道庁	町長、教育長、園長
5・11	火	管内学力保障会議・管内教頭会	Zoom	教育長
5・16	月	スポーツ少年団本部総会	町民セ	教育長、職員
5・18	水	文科省、高橋はるみ文科大臣政務官へ挨拶	文科省	町長、教育長、炭谷
5・20	金	文化協会総会、スポーツ協会役員会	町民セ	教育長、職員
5・23	月	放課後子どもプラン植樹会 (細谷建設)	駐車場前	教育長、社会教育
5・24	火	文化財保護委員会テシオコザクラ観察会	掬水	教育長、社教
5・26	木	5月定例教育委員会、校長・教頭会議	町民セ	教育長他
5・27	金	宗谷研修センター来訪 (挨拶)	町民セ	教育長他
5・27	金	スポーツ協会総会	町民セ	教育長、社教他
5・28	土	スポーツ少年団結団式、町民体力テスト	小学校	教育長他
5・29	日	町民パークゴルフ大会	寿PG場	教育長、社教他
6・7	火	第2回町議会定例会 (8日まで)	役場	教育長、次長、主幹
6・11	土	中頓別中学校運動会	中学校	
6・14	火	コンプライアンス確立会議	Zoom	教育長
6・16	木	6月定例教育委員会、校長・教頭会議	町民セ	教育長他
6・17	金	スポーツ推進委員会	町民セ	教育長、次長、社教

6・20	月	津別町役場、学校視察（木質活用）	津別	町長、教育長、建設、産業
6・21	火	遠軽町芸術文化交流プラザ視察（木質活用）	遠軽	同上
6・24	金	中学生用自習室開放（～28日）	町民セ	
6・25	土	認定こども園運動会	こども園	町長、教育長
6・28	火	学校力向上協議会キックオフ（Zoom）		教育長、小中管理職
6・29	水	学校運営協議会	小学校	教育長、校長、園長他
7・2	土	小学校運動会	小学校	町長、教育長他
7・4	月	新しい学校づくり旭台地区説明会	旭台	教育長、次長、参事他
7・5	火	新しい学校づくり住民説明会	役場	同上
7・8	金	学校力向上全道協議会（Zoom, 対面）	浜頓別役場	教育長、次長、校長他
7・10	日	文化塾（ダンスプロジェクト）	小学校	次長、社教
7・11	月	議会いきいきふるさと常任委員会	役場	教育長、次長、参事
7・13	水	稚内市教委への学校づくりに関する聞取り	稚内市教委	教育長、参事、主事
7・19	火	7月定例教育委員会、校長・教頭会議	町民セ	教育長他
7・21	金	高校配置計画地域別協議会	Zoom	教育長、小校長、中教頭
7・25	月	広島大学付属三原学校園視察	広島県	教育長、園長、主事
7・26	火	神戸子ども本の森視察	兵庫県	同上
		ラジオ体操会（～8/4）	柔剣道場前	社会教育主幹他
		夏だ、ハワイだ、町民センターだ！（～30）	町民セ	ダリン主事他
		親子水泳教室	町民プール	社教、教育長、園長他
7・29	金	管内人事推進会議、教育長会議	Zoom	教育長
8・9	火	中頓別学園学校設置協議会	役場	町長、副町長、教育長他
8・17	水	中頓別学園について聞き取り調査（和光大学）	役場	町長、教育長、園長
8・25	木	定例教育委員会	町民セ	町長、次長他
		町民駅伝実行委員会	町民セ	教育長、社教他
9・4	日	町民駅伝大会	Zoom	教育長、小校長、中教頭
9・9	金	道教委（本庁）教育指導監来訪	中小、教委	校長、教育長
9・13	火	第3回町議会定例会（15日まで）	役場	教育長、園長、次長、主幹
9・13	火	社会教育委員会	町民セ	教育長、次長他
9・15	木	文科省学校視察	中小、中中	教育長、参事、主査
9・16	金	中頓別学園設置協議会（キックオフ）	役場	町長、副町長、教育長他
9・16		文化祭実行委員会	町民セ	教育長、次長他
9・22	水	宗谷管内教育研究大会（授業公開）	中小、中中	

9・26	月	9月定例教育委員会、校長・教頭会議	町民セ	教育長他
9・27	火	1日防災学校	中頓別小	教育長他
9・28	水	1日防災学校	中頓別中	教育長他
10・5	水	文化塾「教育立村への挑戦」辻英之氏	役場	教育長他
10・7	金	学校づくり教職員ワークショップ 学校づくり子どもワークショップ	町民セ	教育長 次長、参事、主査他
10・14	金	中頓別町議会常任委員会（学校づくり）	議会	教育長、次長、 参事教育長他
		中頓別学園設置協議会	役場	
10・17	月	管内人事推進会議 管内教育長会議	リモート	教育長
10・19	水	北海道町村教育委員会連合教育長部会研修会	札幌	教育長
10・23	日	中頓別中学校学校祭	中頓別中	町長、教育長
10・26	水	特別支援教育連携協議会情報交換会	町民セ	教育長、校長、 教頭他
10・28	金	定例教育委員会	町民セ	教育長他
10・29	土	小学校学習発表会（コロナのため延期）	中頓別小	(12月3日へ)
		町民文化祭（展示のみ実施、舞台発表延期）	町民セ	
10・31	月	町長がおじゃまします（第1）	専念寺	教育長
11・1	火	町長がおじゃまします（藤井）	藤井会館	教育長
11・2	水	町長がおじゃまします（宮下）	役場	教育長
11・7	月	町長がおじゃまします（松音）	松音会館	教育長
		同上（小頓）	小頓会館	
11・9	水	教育局との人事協議	Zoom	教育長
11・10	木	大崎上島町親善訪問（13日まで）	広島・愛媛	教育長
11・14	月	町長がおじゃまします（農協）	役場	教育長
11・15	火	浜頓別高校来訪	教委	教育長
11・17	木	中学生向け自習室開放（22日まで）	町民セ、図書室	
11・21	月	町長がおじゃまします（ひよっこくらぶ）	保健センター	教育長、次長
11・24	木	麦の子学園研修会	保健センター	教育長
11・25	金	麦の子学園研修会		教育長
		これからの学校づくり協議会	Zoom	教育長
		町長がおじゃまします（まちづくり協議会）	役場	教育長
11・30	水	定例教育委員会、総合教育会議	町民セ	教育長他
12・3	土	小学校学習発表会	小学校	町長、教育長

12・7	水	100年学びの拠点学校づくり公開審査会	町民セ	プロボ審査員等
12・8	木	「学びの拠点」審査委員会	役場	同上
12・12	月	町教育支援委員会	町民セ	教育長、学校代表等
12・14	水	第4回定例町議会（15日まで）	役場	教育長他
12・16	金	スキー場安全祈願祭 スポーツ推進会議	寿スキー場 町民セ	町長、議長、教育長他 教育長、推進委他
12・17	土	スキー場オープン	寿スキー場	
12・19	月	社会教育委員会	町民セ	教育長、社教委他
12・20	火	学校力向上全道協議会	Zoom	教育長
12・21	水	浜高を支援する会	浜頓別役場	教育長
12・23	金	小学校、中学校終業式	小、中	
12・25	日	安平町立早来学園視察	早来学園	教育長、校長、課長他
12・26	月	町行政評価委員会	役場	教育次長他
12・27	火	定例教育委員会	町民セ	教育長他
1・4	水	新年交礼会	役場	教育長、校長他
1・5	木	消防出初式	町民セ	教育長、校長他
1・8	日	成人式	役場	教育長、教育委員他
1・14	土	ジュニアアルペン教室（15日まで）	スキー場	園長、主幹他
1・18	水	文化スポーツ表彰 宗谷管内教育委員研修会	中学校 Zoom	教育長他 教育長
1・19	木	浜頓別・中頓別合同学校経営研究協議会	浜頓別役場	教育長、教育委員 校長、教頭、園長他
1・21	土	一般スキー教室（2月まで5回実施）	スキー場	教育長他
1・24	火	定例教育委員会	町民セ	教育長他
1・27	金	管内教育長会議	Zoom	教育次長
1・28	土	しばれ祭り、大崎上島町訪問団来町	メモリアルパーク	
1・30	月	学校力向上研究協議会	中小	教育長他
1・31	火	町議会臨時議会	役場	教育長、次長、参事
2・3	金	幼小懇談・参観	こども園	小学校教職員他
2・4	土	歩くスキー教室・一般スキー教室	寿スキー場	講師：丸田他
2・5	日	ジュニアスキー大会・一般スキー教室	寿スキー場	教育委員会事務局
2・6	月	中頓別学園設置協議会④	役場	教育長他
2・10	金	厚労省3月13日「マスクは個人判断」発表		

2・14	火	スポーツ推進委員会	町民セ	教育長他
2・18	土	こども園生活発表会	こども園	町長、教育長
2・20	月	教育委員会学校訪問	園、小、中	教育委員他
2・21	火	管内教育長会議	Zoom	教育長他
2・23	木	夢と希望を感動体験事業 スキーツアー	名寄ピヤシリ	教育長他
2・24	金	定例教育委員会	町民セ	教育長他
2・25	土	歩くスキー教室	寿スキー場	教育長、社会教育
2・28	火	中頓別学園設置協議会⑤	役場	教育長他
3・1	水	浜頓別高等学校卒業式	浜頓別高	教育長
3・2	木	第1回中頓別町議会	役場	教育長他
3・3	金	中頓別町議会いきいきふるさと常任委員会	役場	教育長他
3・5	日	なかとんべつスノーフェスタ	寿スキー場	教育長、社教他職員
3・6	月	宗谷教育局による教育委員会訪問 (Zoom)	Zoom	教育長、教育次長
3・8	火	中頓別町議会再開 (10日まで)	役場	教育長他
3・11	土	映画「ゆめパの時間」	こども園	町長、教育長他
3・12	日	中頓別中学校卒業式	中学校	町長、教育長、校長、園長
3・14	火	スポーツ少年団解団式	小学校	教育長、社教
3・17	金	故藤田功校長死亡叙勲	稚内	教育長、主事
3・18	土	中頓別小学校卒業式	小学校	町長、教育長、校長、園長
3・20	月	放課後子どもプラン閉講式	町民セ	教育長、社教他
3・23	木	スポーツ推進委員会、社会教育委員会議	町民セ	教育長、社教他
3・25	土	認定こども園卒園式	こども園	町長、教育長
3・27	月	定例教育委員会	町民セ	教育長他
3・30	木	町民センター避難訓練 (火災)	町民セ	教育委員会職員

3. 法規・規則等の制定、計画等の策定状況

令和4年度に改正または制定された教育関係規則の数は2本です。

なお、法規、規則等の制定の状況は次のとおりです。

(1)教育委員会規則

題 教養委員会行政組織規則	公布年月日	施行年月日
中頓別町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則	R04.07.14	R04.07.14
中頓別町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則	R04.07.19	R04.07.19

4. 付属機関の審議概要

中頓別町教育委員会に設置している主な付属（審議）機関は、次のとおりです。

令和4年度には各機関等において、諮問された次の審議事項について、答申等に向けた協議、検討が行われました。

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
社会教育委員会 R3. 04. 01～R5. 03. 31 ※定数10名以内	7名	04. 05. 09	○報告 ・令和3年度社会教育・社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和4年度社会教育・スポーツ推進事業について（4月～3月） ・社会教育関係団体に関する補助金について ・宗谷管内社会教育委員連絡協議会関係について
		04. 09. 13	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（4月～9月） ・夢と希望を！感動体験事業に関する補助金事業の実施状況について ○協議 ・文化スポーツ表彰について ・宗谷管内社会教育委員研修会について ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（9月～12月）
		04. 12. 19	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（9月～12月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（12月～3月）
		05. 03. 23	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和5年度の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）
スポーツ推進委員会 R3. 04. 01～R5. 03. 31 ※定数15名以内	12名	04. 04. 22	○報告 ・令和3年度社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）
		04. 06. 17	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（4月～6月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（6月～12月）
		04. 12. 16	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（6月～12月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（12月～3月）
		05. 02. 14	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（12月～3月） ○協議 ・スノーフェスティバルについて
		05. 03. 23	○報告 ・令和4年度社会教育・社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和5年度の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町特別支援教育 連携協議会 R4. 04. 01～05. 03. 31 ※関係団体・機関等 から15名以内	13名	04. 04. 27 書面開催	○総会 ・令和3年度活動報告、決算報告 ・令和4年度事業計画、予算の承認
		04. 05. 25 書面開催	○第1回役員会 ・「講演会（学習会）」の講師・内容協議
		04. 09. 26 Zoom開催	○第2回役員会兼教育支援会議 ・教育支援会議に向けた情報共有と今後の活動について
		04. 10. 26	○情報交換会 ・構成団体の活動交流 ・12月の教育支援会議の日程決定
		04. 11. 1 Zoom開催	○令和4年度子育て講演会（中頓別町PTA連合会共催） 講演テーマ「みんなの学校が教えてくれたこと」 講師 木村康子氏（大阪市立大空小学校初代校長）
		04. 11. 16	○教育支援会議に向けた学校・こども園視察 特別支援コーディネーターによるこども園視察
		04. 12. 9	○教育支援会議に向けた学校・こども園視察 特別支援コーディネーターによる小学校視察
		04. 12. 12	○第2回教育支援会議
		05. 02. 02 書面開催	○第3回役員会 書面開催 ・令和4年度事業報告 ・令和5年度事業計画
合同学校運営協議会 R3. 04. 01～R5. 03. 31	24名	04. 06. 29 19名出席	○第1回合同学校運営協議会 ・中頓別こども園運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別小学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別中学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・質問・意見 ・学校運営方針・具体的取組の承認 ・新しい学校づくりについて
中頓別町文化財保護委 員会 R3. 04. 01～R5. 03. 31 ※定数7名以内	5名	04. 05. 24	調査活動 ※会議は話し合う議題がなかったため中止
中頓別町育英会 03. 05. 31～04総会まで ※会長1・副会長1 理事若干名・監事 2名	8名	04. 05. 30 書面開催	○役員会及び総会 ・令和3年度育英会貸付業務等の報告 ・令和3年度収支決算・監査報告 ・令和4年度の貸付者の選考審査・予算の決定
中頓別学園設置協議会 R4. 08. 09～R5. 3. 16	25名	04. 08. 09 16名出席	○第1回中頓別学園設置協議会 ・基本方針・ビジュアルイメージの検討
		04. 09. 16 21名出席	○第2回中頓別学園設置協議会 ・基本方針の検討
		04. 10. 14 23名出席	○第3回中頓別学園設置協議会 ・町民ワークショップ意見集約 ・ビジュアルイメージ策定方針の検討
		05. 02. 06 20名出席	○第4回中頓別学園設置協議会 ・町民意見集約
		05. 02. 28 16名出席	○第5回中頓別学園設置協議会 ・町民意見集約

5. 令和4年度教育目標並びに施策の体系

- ・ 中頓別町教育推進計画

～夢と希望に向かって、豊かな心でたくましく生きる力を育む～

- ・ 第8期 中頓別町総合計画（抜粋）

※別紙「第4章 子育て支援、教育の充実」を参照

基本理念 夢と希望に向かって、豊かな心で、たくましく生きる力を育む

30の施策項目

6つの目標

目標1
社会で生きる力の育成

- 1 義務教育における確かな学力の育成
- 2 複式教育の充実
- 3 特別支援教育の充実
- 4 国際理解教育の充実
- 5 理数教育の充実
- 6 情報教育の充実
- 7 キャリア教育の充実
- 8 産業教育の充実

目標2
豊かな人間性の育成

- 9 道徳教育の充実
- 10 ふるさと教育の充実
- 11 読書活動の推進
- 12 体験的な活動の充実
- 13 コミュニケーション能力の育成
- 14 いじめ防止や不登校児童生徒への支援の取組の充実

目標3
健やかな身体の育成

- 15 体力・運動能力の向上
- 16 食育の推進
- 17 健康教育の充実

目標4
学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

- 18 家庭教育支援の充実
- 19 幼児教育の充実
- 20 学校と地域の連携・協働の推進
- 21 学びのセーフティネットの構築

目標5
学びをつなぐ学校づくりの実現

- 22 学校段階間の連携・接続の推進
- 23 学校施設・設備の充実
- 24 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進
- 25 学校運営の改善
- 26 学校安全教育の充実

目標6
学びを活かす地域社会の実現

- 27 生涯学習の振興
- 28 社会教育の振興
- 29 芸術文化・スポーツ活動の推進
- 30 文化財の保存及び活用の推進

第8期 中頓別町総合計画

令和4年4月1日～令和14年3月31日

※抜粋

第4 目指す未来

＜第8期計画の施策体系別基本方針＞

教育 将来を生きる力を育むまち

1. 幼小中を通して生きる力を育む

まちづくり

(1) あそびや生活の中で生きる力、探求心・

好奇心を育む幼児教育の充実

幼小中一貫とする隙間のない教育の機会を確保し、教育機関が連携できる環境をつくります。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・認定こども園事業
- ・地域子育て支援センター事業
- ・こどもセンター事業

(2) 自ら学び自ら考える力を育てる

学校教育の充実

新しい校舎づくりと運営体制を整えるため、その学習機会を提供する土台づくりとなる施設整備をしっかりと推進します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・教育研究指定校委託事業
- ・教職員健康診断委託事業
- ・教育研究会運営事業
- ・特別支援教育連携協議会運営事業
- ・就学奨励事業

- ・小学校教育振興事業
- ・中学校教育振興事業
- ・中学校改築等推進事業

2. 子どもたちがいずれはまちに戻ってきた いと思える気持ちを育てるまちづくり

(1) 自分らしい生き方を実現するキャリア 教育の推進

子どもたちが将来社会人になるときにこの町で暮らしたいと考えてもらえるよう、ふるさと教育の提供に努めるとともに、現児童生徒が卒業生と交流し、どんな社会人を目指せるように考えられる機会の提供づくりを目指します。

また、新しい学校づくりと連携して、どの年齢期においても生涯学習の機会をしっかりと提供できる取り組みを目指します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業
- ・青少年健全育成事業
- ・社会教育推進事業【再掲】

(2) 特色ある教育活動の推進

外国語の学力向上を目指すため、資格検定受検者をサポートするとともに、外国文化との交流を推進するための機会提供に努め、よその自治体にはない教育環境を整えます。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

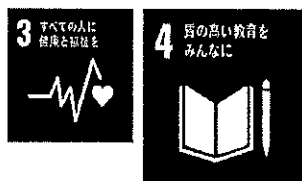
- ・外国青年招致事業
- ・英語力育成事業

- ・学習習慣育成事業補助事業
- ・学校給食事業（給食費無料）

3. 大人も一緒に学べるまちづくり

(1) 生涯教育の推進

全ての町民がいくつになっても学習をする機会を確保し、異世代交流などによる生涯学習を推進します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・生涯学習推進事業
- ・社会教育推進事業
- ・なかとんべつ子ども読書プラン事業
- ・文化財保護事業
- ・社会教育関連施設運営業務

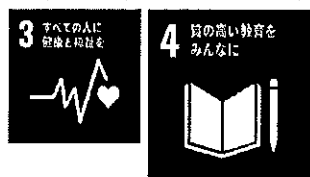
(2) いくつになっても楽しく参加できる

文化・スポーツ活動の推進

優れた芸術鑑賞の機会提供と、文化団体・サークル活動の支援を図ります。

町民のスポーツ振興に向けた設備環境を積極的に確保し、各年齢期が活躍できるようスポーツ団体の支援を図ります。

また、各種教室や大会等イベント開催を連携して充実を図ります。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・町民文化活動推進事業
- ・スポーツ推進事業
- ・町民各種スポーツ大会等運営事業
- ・冬季スポーツ教室等運営事業
- ・スポーツ関連施設運営業務

環境 美しい自然を守り共生するまち

1. ふるさとの自然に誇りが持てる

まちづくり

(2) ふるさとの自然に誇りをもてる環境教育の推進

豊かな自然環境を活かした環境学習や教育活動に取り組みます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・そうや自然学校事業
- ・森のこども園

6. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(1) 健やかでこころ豊かな子どもを育てる環境づくり

①子育て支援と幼児教育の充実

①子育て支援と幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和3年度	令和4年度																							
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																							
認定こども園事業	急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、小学校就学前の子どもに幼児教育・保育等総合的に提供する。	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的に行い、遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきました。新体力テストの結果、敏捷性や跳躍力が高い傾向が見られました。	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的に行い、遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきました。新体力テストの結果、敏捷性や跳躍力が高い傾向が見られました。																							
	【入所人員】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>・0歳児</td><td>4名</td><td>2名</td></tr><tr><td>・1・2歳児</td><td>15名</td><td>10名</td></tr><tr><td>・3歳児</td><td>16名</td><td>10名</td></tr><tr><td>・4歳児</td><td>14名</td><td>14名</td></tr><tr><td>・5歳児</td><td>10名</td><td>12名</td></tr><tr><td>合計</td><td>60名</td><td>48名</td></tr><tr><td>うち短時間利用児</td><td>5名</td><td>4名</td></tr></table>		R3	R4	・0歳児	4名	2名	・1・2歳児	15名	10名	・3歳児	16名	10名	・4歳児	14名	14名	・5歳児	10名	12名	合計	60名	48名	うち短時間利用児	5名	4名	また、年長児を対象にALTとの「英語であそぼう」を発展させ、英語を活用した発表を行うとともに、年長児以外のクラスにもALTが入って一緒に遊び生活することで日常的に英会話に親しむ取り組みを行いました。 ○◇職員一人ひとりが、子どもの発達や学びの連続性を理解し、きめ細かな指導や見通しをもった計画の充実を図りました。また、保護者が安心して子育てできるよう、助産師や保健師と月1回の定期的な情報共有を行い、効果的な子育て支援体制充実に取り組みました。今後は小学校との連携も図ります。 また、「なかとんべつ学園」設立をめざして、小学校との連携・接続を一層深めることが必要です。 ◇今後も職員の専門性を十分生かし、こども園が保護者の良きパートナーとなり、積極的にサポートしながら、地域全体の「子育て力」の向上に努めていくことが大切です。
	R3	R4																								
・0歳児	4名	2名																								
・1・2歳児	15名	10名																								
・3歳児	16名	10名																								
・4歳児	14名	14名																								
・5歳児	10名	12名																								
合計	60名	48名																								
うち短時間利用児	5名	4名																								

			◇今後も職員の専門性を十分生かし、こども園が保護者の良きパートナーとなり、積極的にサポートしながら、地域全体の「子育て力」の向上に努めていくことが大切です。
--	--	--	---

	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性																								
地域子育て支援事業	すべての子育て家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談や援助の実施。子育て家庭の交流の場の提供及び促進を図る。 【取り組み内容】 ・あそびの広場 ・育児相談 ・文庫開放 ・子育て講演／講座 ・情報の提供	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできました。 ○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざして保健福祉課との連携を進めています。 ○発達障害など、成長に特別な配慮を要する子どもの「生きづらさ」をサポートするための「個別の指導計画」の取組について保護者と2回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有しました。 ◇「放課後等デイサービス事業」が廃案になったので、新たに「こども発達支援センター」を立ち上げ、早期療育等のための準備を進めます。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていきます。	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできました。 ○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざして保健福祉課との連携を進めています。 ○発達障害など、成長に特別な配慮を要する子どもの「生きづらさ」をサポートするための「個別の指導計画」の取組について保護者と2回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有しました。また、小中学校と同じフォーマットの個別の支援計画を作成し、幼小中連携した個別の支援を進めています。 ◇「こども発達支援センター『くれよん』」の運用を進め、個別の発達支援を進めています。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていきます。																								
放課後児童健全育成事業	保護者の就労形態により、昼間家庭にいない子どもを対象として、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。 【入所人員】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>・1年生</td><td>14名</td><td>9名</td></tr><tr><td>・2年生</td><td>6名</td><td>12名</td></tr><tr><td>・3年生</td><td>7名</td><td>6名</td></tr><tr><td>・4年生</td><td>14名</td><td>7名</td></tr><tr><td>・5年生</td><td>14名</td><td>12名</td></tr><tr><td>・6年生</td><td>3名</td><td>13名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>58名</td><td>59名</td></tr></table>		R3	R4	・1年生	14名	9名	・2年生	6名	12名	・3年生	7名	6名	・4年生	14名	7名	・5年生	14名	12名	・6年生	3名	13名	合 計	58名	59名	○平成28年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。 登録児童が増加しているため、安全対策やプログラムの充実のため、効果的な人員配置をおこなった。 ●専門的な職員は配置しているものの法改正に伴い、受講しなければならない研修会がある。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。	○平成28年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。 登録児童は依然増加傾向にあり、町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の1つとして確立されてきている。 ●専門的な職員は配置しているものの、受講しなければならない研修会がある。また、支援員人数減少によりプログラムへの制限が見られる。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。
	R3	R4																									
・1年生	14名	9名																									
・2年生	6名	12名																									
・3年生	7名	6名																									
・4年生	14名	7名																									
・5年生	14名	12名																									
・6年生	3名	13名																									
合 計	58名	59名																									

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
あいさつ子育て推進協議会運営補助事業	子どもの健全育成を願い、学校・父母・地域住民が共同して活動をする。 【事業内容】 ・子育て看板の設置 ・商工会街頭放送 ・祭典パレードでの参加協力 ・三行詩の取組み（町P連と連携） ・啓発チラシ等の更新 ・教育講演会への支援協力	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ◇本事業は町P連と連携した事業であることから、令和2年度より中頓別町学校PTA連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的活用していきたい。	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ○子育て講演会をオンラインで開催することができた。 ◇本事業は町P連と連携した事業であることから、令和2年度より中頓別町学校PTA連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的活用していきたい。また、次年度以降は対面での講演会を開いていきたい。
生徒指導連絡協議会運営補助事業	幼児・児童生徒の健全育成、安全指導を関係機関との連携協調を持って、総合的に行う。 【事業内容】 ・総会定例会の開催 ・長期休業中の過ごし方の作成と配布 ・祭典巡視 ・教育講演会への支援協力 【補助金】 ＜令和3年度＞ ・補助金 150,000 円 ＜令和4年度＞ ・補助金 150,000 円	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 また、「子ども安全パトロール隊」との交流をしていきたい。	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 ●講演会は新型コロナウイルス感染症の影響で行うことができなかった。 ◇講演会をオンラインでの可能性やPTA連合会との共催を探りながら行っていきたい。また、「子ども安全パトロール隊」との交流をしていきたい。
子ども会育成会連絡協議会	補助金が廃止されてから、活動を休止している。		

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種少年 教育事業	教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。 【事業内容】 <令和3年度> ○北緯45度ふれあい広場 新型コロナウイルス感染予防のため中止 ○カルタ教室・大会 新型コロナウイルス感染予防のため中止 <令和4年度> ○北緯45度ふれあい広場 新型コロナウイルス感染予防のため中止 ○カルタ教室・大会 新型コロナウイルス感染予防のため中止	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ●今年度は中頓別町子育て講演会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ◇通年での活動を目指し、指導者の確保と楽しく練習できる仕組みづくりが必要である。これにより、管内大会で成績が上がれば練習の励みにしていきたい。	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○カルタ教室・大会としては中止としたが放課後子どもプランの児童を対象に教育長からカルタの読み方等を教えていただき、1～3年生にとってカルタを始めるきっかけを作ることができた。 ●今年度は中頓別町子育て講演会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ◇通年での活動を目指し、指導者の確保と楽しく練習できる仕組みづくりが必要である。これにより、管内大会で成績が上がれば練習の励みにしていきたい。また、ここ数年カルタ教室・大会を中止にしていることから、カルタの読み方がわからない小学生が増えているため放課後子どもプラン等で練習する仕組みを整えていきたい。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子どもプラン」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を推進する。 【事業実績】 ○学校支援地域本部事業・総合的な学習への支援 ○放課後子どもプラン事業・放課後の居場所づくり ○家庭教育支援事業・家庭教育講演会の開催	○一部、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得ない事業もあったが、学校授業や放課後において、地域住民の方々に関わって頂き活動を進めることができた。 教育支援員の登録数も増え、小中学校ともコーディネーターとの定期打合せを組み、特に小学校は仕組みが安定し事業数も増え充実した。 教育委員会、保健福祉課連携の「放課後子どもプラン」をスタートしてから6年が経過。昨年度までと変わらず登録児童は増加傾向にあり、コロナ対策も兼ね学年別活動（1年生、2年生、高学年）として学年に合わせたメニュー作りをし、進めている。 親子水泳教室、親子スキー教室などを継続開催、また、子どもたちのスキーワックスがけが新たに開始され、家庭教育分野もより充実した。 （実績については別紙資料1「令和3年度 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動 実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討、また、各校とより良い関係作りを進めていきたい。	○新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、学校授業や放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き活動を進めることができた。 教育支援員の登録数も増え、小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園事業についても整理し進める体制を整えた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから7年経過。コロナ対策も兼ね始まった学年別活動も続いており、それぞれの学年に適した活動を実施できている他、従来の縦割り活動も織り交ぜメニュー作りをし、進めている。 親子水泳教室、親子スキー教室などの他、令和3年度より始まった子どもたちのスキーワックスがけ事業も継続開催。また、こども園での人権教室も実施され、家庭教育分野もより一層充実した。 （実績については別紙資料1「令和4年度 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動 実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討していきたい。

②学校教育の充実

②学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性															
教育委員会事業	教育委員会会議開催などの事務に関すること。 ＜令和3年度＞ ・定例会議 12回 ・臨時会議 4回 ＜令和4年度＞ ・定例会議 12回 ・臨時会議 1回	○毎月1回の教育委員会会議の中で、教育行政に係る当面する課題解決に向けた審議と協議が行われた。 ○教育委員会会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、教育推進がさらに図られるようにする。	○毎月1回の教育委員会会議の中で、教育行政に係る当面する課題解決に向けた審議と協議が行われた。 ○教育委員会会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、教育推進がさらに図られるようにする。															
教育委員会事務局事業	教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務事業を遂行する。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替えを含め、令和8年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替えを含め、令和8年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。															
公用車両維持管理事業	教育行政に必要な公用車の維持管理及び遠方の児童生徒の通学の足として、スクールバスの安全運行を図る。 【車両台数】 ・事務局用車両 1台 ・スクールバス 3台 【利用者数】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>・こども園</td><td>3名</td><td>3名</td></tr><tr><td>・小学校</td><td>11名</td><td>11名</td></tr><tr><td>・中学校</td><td>4名</td><td>3名</td></tr><tr><td>・高校生</td><td>3名</td><td>3名</td></tr></table>		R3	R4	・こども園	3名	3名	・小学校	11名	11名	・中学校	4名	3名	・高校生	3名	3名	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。今年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇車両修繕に係る計画的な修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。令和3年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が本格的に始まることから、車両修繕に係る修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。
	R3	R4																
・こども園	3名	3名																
・小学校	11名	11名																
・中学校	4名	3名																
・高校生	3名	3名																

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
外国青年招致事業	外国語教育の充実や外国の文化にふれることによる国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する事業である。 【外国語活動】 ○こども館 ・絵本読み聞かせ ・コミュニケーション ○小学校 ・ウェルカム教室(国際理解) ・コミュニケーション英語 ○中学校 ・外国語授業 【英会話教室】 ・金曜日 11:00～12:00	○外国語指導助手は2名体制となっている。1名は令和元年8月より正職員となった。 ●令和2年度まで火曜日に行っていた英会話教室は参加者がいないため中止とした。新型コロナウイルス感染症の影響で実施は難しかったが、外国語活動の状況をもっと町民に知ってもらえるように宣伝アピールをしていく必要がある。 ○小学校5・6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施した。 ○令和3年度より外国指導助手1名を中学校に常駐させた。	○外国語指導助手は2名体制で、令和3年度より外国指導助手1名を中学校に常駐させている。 ○町民センターまつりの中で、ハワイの音楽やフラダンス等ハワイの文化を紹介した。 ○小学校5・6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施した。
教育研究指定校委託事業	各学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について、研究を委託する事業である。 【研究報告】 ・研究紀要 【委託料】 ＜令和3年度＞ ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円 ＜令和4年度＞ ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。
教職員健康診断事業(人間ドック)	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 ＜令和3年度＞ ・54歳以下ドック受診者 小学校 3名 中学校 4名 ＜令和4年度＞ ・54歳以下ドック受診者 小学校 3名 中学校 3名	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ●公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されとは限らないが、今年度は予算以上の7名が受けることができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ●公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されとは限らないが、今年度は6名が受けることができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向
学校体育連盟運営事業	町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。 【補助金】 ＜令和3年度＞ ・補助金 373,000 円 ＜令和4年度＞ ・補助金 323,000 円	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、陸上競技1名、卓球競技2名、スキー競技1名が全道大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、スキー競技1名が全道大会に、卓球競技1名が北海道選手権大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。
中頓別町教育研究会運営事業	中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営計画に則り、各校教育課程の改善、充実を図るため、町教育研究会に補助する事業である。 【補助金】 ＜平成3年度＞ ・補助金 262,000 円 【令和3年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・小中交流授業公開 ＜令和4年度＞ ・補助金 262,000 円 【令和4年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・管内教育研究大会 ・小中交流授業公開	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催や規模を縮小した形でサークル活動や実技研修、研究大会等の活動を実施した。中頓別町・浜頓別町教育研究大会では、学びの共同体を意識した授業改革についての研修をした。小中連携の推進をとおして、今日的な教育課題の解決に向け、学校や子どもの実態、地域性を踏まえた教育活動を推進することができた。更に、小学校・中学校の主体性を発揮しつつ、接続・連携を意識し、教職員の資質や学校力の向上も図ることができた。 ◇本町における望ましい子ども像の確立に向け、小、中学校の教職員が子どもの実態を共通し連携を進め、小・中学校の9年間を見通した教育効果を高め、実効性のある取り組みを進めていく。	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンライン開催や規模を縮小した形でサークル活動や研究大会等の活動を実施した。中頓別町・浜頓別町・猿払村教育研究大会では、会場校として、授業公開・協議の運営にあたった。小中連携の推進については活動の主体を町研から切り離し、小中連携委員会を各校の分掌に位置付け、企画・運営は各校の担当が連携しながら決定していく進め方を取った。 ●新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、合同実技研修の開催は見合わせた。小中連携に関して、町研と切り離して小中連携委員会それぞれの部会が主体となつての活動は上手いかなかった部分があった。 ◇小中連携活動に加えて、合同でのカリキュラムや生徒指導のルール作り、一貫校となった際の実務的な調整を行っていく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向
道内教育委員会協議会補助事業	北海道教育委員会連絡協議会及び宗谷管内教育委員会連絡協議会があり、負担金は管内教連に執行している。 目的は、各市町村教育委員会相互の連絡連携を図り教育振興と充実を図る。 【補助金】 <令和3年度> ・補助金 20,000 円 <令和4年度> ・補助金 0 円	◇新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、北海道教育委員研修や宗谷管内教育委員研修会は中止となった。研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がり、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。	○前年度まで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となっていた、宗谷管内教育委員研修会に参加。 ◇研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がり、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。
中頓別町特別支援教育連携協議会運営事業	発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援体制のあり方等を検討することを目的に補助金を交付する事業である。 【令和3年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（紙面開催） ・年1回 ○連携協議会役員会の開催 ・年3回（うち1回中止） ○特別支援コーディネーター・特別支援担当者におけるこども園・小学校・中学校視察 【令和4年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年1回 ○連携協議会役員会の開催（書面・Zoom開催） ・年3回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom開催） ○特別支援コーディネーター・特別支援担当者におけるこども園・小学校視察 <令和3年度> ・補助金 0 円 <令和4年度> ・補助金 140,000 円	○情報交換会の開催 ・各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。	○情報交換会の開催 ○各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ○中頓別町PTA連合会との共催で、大阪市立大空小学校初代校長木村泰子氏を講師に「みんなの学校が教えてくれたこと」というテーマで講演会が行われた。こども園・小・中学校の教職員を中心に20名ほどが参加した。 ○学校・こども園視察では、小・中学校の特別支援コーディネーターにより視察が行われ、情報交換会で共有した子供の実態の把握と教育支援会議に向けた情報共有が行われた。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向
中 頓 別 学 園 整 備 事 業	中頓別中学校が抱える施設の老朽化の問題を解決しつつ、こども園・小学校・中学校が連携した学校づくりを推進するため、小中学校の校舎を新築・改修により集約し義務教育学校を設置する。さらに地域と協働する全世代型の学びの拠点づくりを目指す。 <令和4年度> ・中頓別学園設置協議会 5回 ・親子参加型ワークショップ ・設計プロポーザル ・町民ヒアリング ・活動ワークショップ		○文科省の「新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業」に全国2か所のうち中頓別町が採択され、中頓別学園設置協議会を設立し、義務教育学校設置の基本計画等の作成・設計プロセスの整理を行うことができた。 ●コロナウイルス感染症が流行し、当初予定していたワークショップの開催ができなかった。教職員ワークショップを1回実施したが、教職員と情報を共有することができなかった。 ◇令和5年度に、ハード面では補助金申請・基本設計及び実施設計の検討が入るため、内容を精査していく。ソフト面では学校教育課程や施設の使い方・建設中の小学校引越等精査していく必要がある。
教 職 員 住 宅 管 理 事 業	教職員等の住宅の確保及び維持管理を実施し、居住環境の保持と改善を図る。 <令和3年度> ・小破壊修繕等 10件 <令和4年度> ・小破壊修繕等 7件 ・教職員住宅修繕 1件 (中学校)	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向
小学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 <令和3年度> ・モノクロレーザープリンタ 1台 ・モノクロ複合機 1台 ・オーディオメーター 1式等 <令和4年度> ・児童用机 70台 ・児童用椅子 70脚 ・児童用デスクマット70枚等	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができた。 ○学校校舎の老朽化に伴い、外壁補修工事、トイレ様式化工事、体育館暖房機取替え工事を実施した。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替わりに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができた。 ○産業課による天板交換プロジェクトの実施に伴い、机・椅子の入れ替えを行った。 ○学校校舎の老朽化に伴い、男子トイレ小便器水栓センサー修繕工事、ボイラー温水巡回ポンプ修繕、ボイラー油電磁弁修繕、消火水槽ボールタップ交換修繕を実施した。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替わりに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。
中学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 <令和3年度> ・ジェットヒーター 1台 ・ジェットヒーターガードフェンス 7台 ・図書室用本棚 1台等 <令和4年度> ・レーザープリンター 1台 ・カラープリンター 1台 ・スポットライト 1台等	●校舎については老朽化と防寒対策のため根本的な解決が必要となっている。 ◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替わりに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。	○特殊建築物定期検査を実施（3年に1回） ●校舎については老朽化と防寒対策のため根本的な解決が必要となっている。 ◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替わりに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。
小学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 <令和3年度> ・セイフティ跳び箱 1台 ・一眼レフカメラ 1台 ・高跳び用バー 1本 <令和4年度> ・陸上ハードル 10本 ・モルテンデジタルピストル 1台 ・双眼実体顕微鏡 2台等	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向
中 学 校 教 育 振 興 事 業	教育効果の向上にむけた必要 な教育教材等の整備。 <令和3年度> ・クラリネット 1台 ・チューバ 1台 ・ニッケル水素充電電池 1台 ・ポータブルワイヤレスアン プ 1台 ・ワイヤレスチューナーユニ ット 1台 <令和4年度> ・スライドマルノコ 1台	○教育効果の向上に向けて必要 最低限な教材等の整備が図 られ、教育効果の向上に繋が った。 ◇今後においても学校との連 携を密にして、教育効果の向 上が図られるよう、優先順位 の高い教材等の充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要 最低限な教材等の整備が図 られ、教育効果の向上に繋が った。 ◇今後においても学校との連 携を密にして、教育効果の向 上が図られるよう、優先順位 の高い教材等の充実を図る。
児 童 生 徒 健 康 診 断 委 託 事 業	児童生徒の健康の保持増進 及び病気の早期発見につなげ ていくことを目的として、児 童生徒の健康診断を実施する 事業である。 【小学生】 R3 R4 内科検診（全学年） 67名 68名 結核検診（全学年） 67名 68名 心臓検診（小1年） 12名 11名 心臓検診（小4年） 14名 7名 歯科検診（全学年） 67名 68名 尿検査（全学年） 67名 68名 【中学生】 内科検診（全学年） 28名 24名 結核検診（全学年） 28名 24名 心臓検診（中1年） 8名 6名 尿検査（全学年） 28名 24名	○児童生徒に係る健康診断 は、学校保健安全法により学 校の設置者に義務付けられて おり、健康診断の実施により、 疾病の予防や早期発見に寄与 した。町内で新型コロナウイルス 感染症が拡大した時期は一時休 止したものの、各学校でフッ化 物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危 惧されていることから、こど もの身体への関心を高め、生 活を振り返ることを目的とし て、小児生活習慣病予防検診 を実施した。 ○保健師による小学校児童向 けの生活予防習慣病健診につ いての事前説明を実施した。	○児童生徒に係る健康診断 は、学校保健安全法により学 校の設置者に義務付けられて おり、健康診断の実施により、 疾病の予防や早期発見に寄与 した。町内で新型コロナウイルス 感染症が拡大した時期は一時休 止したものの、各学校でフッ化 物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危 惧されていることから、こど もの身体への関心を高め、生 活を振り返ることを目的とし て、小児生活習慣病予防検診 を実施した。 ○保健師による小学校児童向 けの生活予防習慣病健診につ いての事前説明を実施した。 ◇実施方法等に関し小中学校 から挙げた要望に対し、保 健福祉課・病院と連携して応 えながら、事業内容の改善を 図っていく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向									
へき地児童生徒巡回検診事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【検診内容】 ＜令和3年度＞ ・脊柱側弯症検診（毎年実施） ・耳鼻科検診 ＜令和4年度＞ ・脊柱側弯症検診（毎年実施）	◇他町との連携を図りながら事務局を担う町村と協力していく ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していくが、隔年実施に向けて他町との協議を進めていく。 ※今後の予定 ・令和4年度 脊柱側弯症検診	○脊柱側弯症検診の事務局を務め、適切に事業を終えることができた。 ◇次年度の眼科検診においては、事務局として各町と連携して事業を進める。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、3年に1度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。隔年実施に向けて他町との協議を進めたが、実施には至らなかった。 ※今後の予定 ・令和5年度 脊柱側弯症検診・眼科検診									
教職員健康診断委託事業	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>・小学校</td><td>14名</td><td>13名</td></tr><tr><td>・中学校</td><td>12名</td><td>9名</td></tr></table>		R3	R4	・小学校	14名	13名	・中学校	12名	9名	○人間ドック受診者以外の教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。	○人間ドック受診者以外の辞退者を除く教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。
	R3	R4										
・小学校	14名	13名										
・中学校	12名	9名										
就学児健康診断委託事業	就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。 【検診内容】 ・内科検診 ・歯科検診 【受診者数】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>・受診者</td><td>10名</td><td>12名</td></tr></table>		R3	R4	・受診者	10名	12名	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。			
	R3	R4										
・受診者	10名	12名										

施策項目	取り組み概要	令和3年度	令和4年度									
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性									
就学奨励事業	経済的な理由等によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、必要な援助を行う事業である。 【対象者数】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>・新規者</td><td>1名</td><td>1名</td></tr><tr><td>・継続者</td><td>8名</td><td>9名</td></tr></table>		R3	R4	・新規者	1名	1名	・継続者	8名	9名	○新規者1名、継続者8名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけよう、わかりやすい内容で周知徹底をしていく。	○新規者1名、継続者9名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけよう、わかりやすい内容で周知徹底をしていく。
	R3	R4										
・新規者	1名	1名										
・継続者	8名	9名										
学校給食事業	給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかせねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供する。	○栄養価の向上と旬の食材・食彩にこだわり児童生徒へ栄養バランスのとれた学校給食の提供をすることができた。 ●学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響による家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向け、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。	○米飯給食を基本とし、郷土料理や行事食、7・12月にはリザーブ給食を実施し、新メニューの提供に努めるとともに、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ●学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響による家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向け、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。									
全国学力学習状況調査事業	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として調査を実施する。 【調査対象者】 <table><tr><td></td><td>R3</td><td>R4</td></tr><tr><td>小学校6年生</td><td>6人</td><td>15人</td></tr><tr><td>中学校3年生</td><td>9人</td><td>9人</td></tr></table>		R3	R4	小学校6年生	6人	15人	中学校3年生	9人	9人	○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。小学校の国語では全国平均以上の学力水準がみられた。 ●児童生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波がみられ継続的なデータとしては分析しづらい面もある。データの分析によりどんな設問に躓いているか洗い出し、児童生徒一人ひとりの学力の底上げを目指していく。 ◇平均正答率を上げるだけでなく、社会で自立するために必要な学力を確実に身に付けさせる取組みを、学校、家庭、地域が一体となって進める必要がある。	○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。小学校の国語・理科では全国平均以上の学力水準がみられた。中学校の理科では全国平均以上の学力水準がみられた。 ●児童生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波がみられ継続的なデータとしては分析しづらい面もある。データの分析によりどんな設問に躓いているか洗い出し、児童生徒一人ひとりの学力の底上げを目指していく。 ◇平均正答率を上げるだけでなく、社会で自立するために必要な学力を確実に身に付けさせる取組みを、学校、家庭、地域が一体となって進める必要がある。
	R3	R4										
小学校6年生	6人	15人										
中学校3年生	9人	9人										

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
就学支援委員会事務事業	心身に障害のある児童生徒等の就学の適正を図るため、就学指導委員会を開催し、教育長の指定する事項について審議を行うものである。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ◇今後においても、保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者と共有していく。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ◇今後においても、保護者の意向を最大限尊重し、一人一人にあった支援の在り方を関係者と共有していく。また、知能検査のレベルについて見直しを図る。
中頓別町育英会事務事業	経済的事由により就学が困難な学生、生徒に対して学資を貸与する事業である。 ＜令和3年度＞ ・新規貸与者 0名 ・継続貸与者 0名 ＜令和4年度＞ ・新規貸与者 4名 ・継続貸与者 0名	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり収入減となったため返済が滞っている。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり収入減となったため返済が滞っている。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。
表彰及び儀式典礼に関する事務事業	公立学校職員、教育行政職員として学校教育の振興に貢献し、特に功績が顕著であると認められた者が対象となる。 【死亡叙位叙勲】 ・藤田 功氏	◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。	◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。
規則規程等に関する事務事業	規定に基づき教育委員会条例及び規則の改廃、告示及びその他の規程を定め、公表する。 【条例規則等改正】 R3 R4 ・条例 0本 0本 ・規則 3本 2本 ・規程 1本 0本 ・要綱 0本 0本 ・要領 1本 0本	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する法律等の改正等に伴う事務処理を遅滞なく処理した。 ●教育局との連携を図りながら、事務処理を進めていくことが必要である。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する法律等の改正等に伴う事務処理を遅滞なく処理した。 ●教育局との連携を図りながら、事務処理を進めていくことが必要である。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。

(2) 生きがいとまちづくりを支える社会教育の推進

①社会教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
成人式運営事業	成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。 【事業内容】 ＜令和3年度＞ ・成人式 1月9日（日） - 該当者 14名、出席者 11名 20歳のオリジナル図書 - 父母への感謝の言葉 - 父母からのお祝いの言葉 - 小中学校恩師からのメッセージ・ビデオレター - 放課後子どもプランから絵手紙、しおりプレゼント - 記念ビデオ贈呈 ＜令和4年度＞ ・成人式 1月8日（日） - 該当者 20名、出席者 14名 20歳のオリジナル図書 - 父母への感謝の言葉 - 父母からのお祝いの言葉 - 小中学校恩師からのメッセージ・ビデオレター - 放課後子どもプランから絵手紙、しおりプレゼント - 記念ビデオ贈呈	○早期に新成人の人数を把握し、余裕をもって事務処理を行うことに努め、おおむね有意義なプログラムとして実施した。 父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。 プランで取り組んでいるメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして祝う気持ちの込められた式典となった。 新成人から児童への感謝の品物を後日用意し、渡した。 記念品として、20歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。 ◇成人年齢が18歳に引き下げられる場合、その対象は令和3年度現在の高校3年生となる。大学受験と式典が重なる時期になるとともに、複数の年代となるため、他市町村の動向も把握して、本町ならではの成人式を検討しなければならない。	○早期に新成人の人数を把握し、余裕をもって事務処理を行うことに努め、おおむね有意義なプログラムとして実施した。 父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。 プランで取り組んでいるメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして祝う気持ちの込められた式典となった。 新成人から児童への感謝の品物を後日用意し、渡した。 記念品として、20歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。 ◇成人年齢が18歳に引き下げられる場合、その対象は令和3年度現在の高校3年生となる。大学受験と式典が重なる時期になるとともに、複数の年代となるため、今後も20歳に「20歳を祝う会」と名称を変更して、行っていく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度	令和4年度
少年教育 自然体験 委託事業	郷土の自然や文化に親しみながら、アウトドアの基本を身につけ、豊かな感性と自ら考える力を育むことを目的に、主に小中学生を対象に年間10日間の自然体験イベント「ピンネっこクラブ」を企画運営し、サポート業務を委託する(令和4年度より体制変更)。 <令和3年度> ・「行者ニンニクソーセージをつくろう！」 4月29日 24名参加 ・「焚き火のススメ」 5月29日 中止(感染状況拡大のため) ・「サマーキャンプ2021」 7月26日-27日 44名参加 ・「なかとん砂金物語」 9月11日 10名参加 ・「ピンネシリ岳紅葉登山」 10月9日 4名参加 ・「クリスマスワグをつくろう」 12月12日 20名参加 ・「雪遊び」 1月23日 18名参加 ・「厳冬雪あそび！」 2月26日 中止(感染状況拡大のため) <令和4年度> ・「行者ニンニク狩りにいこう！」 4月23日 14名参加 ・「焚き火のススメ」 5月22日 17名参加 ・「クッチャロ湖カヌー」 6月18日 12名参加 ・「サマーキャンプ2022」 7月28日-29日 25名参加 ・「砂金アクセサリーをつくろう」 8月20日 9名参加	○成果●課題◇今後の方向性 ○そうや自然学校を実施主体として、令和3年度より事業を開始した。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止のため2度イベントを中止したが、8日間の事業を実施した。サマーキャンプについてはコロナ禍ではあったが、感染防止対策を徹底し宿泊キャンプを実施することができた。 ○中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に3名派遣していただいた。 ●サマーキャンプ(「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」)について、定員を超過して参加者を受け入れることになり、スタッフを増員して対応したものの、リスクマネジメントが困難となった。 ◇サマーキャンプ(「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」)は「放課後子どもプラン」の行事として参加が必須であったが、希望者のみの参加に切り替えることを検討する。	○成果●課題◇今後の方向性 ○事業の担当者が教育委員会に移籍したことに伴い、教育委員会が主催し、委託事業者サポート業務を依頼する体制となった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ内容を変更した回もあったものの、おおむね計画どおり宿泊キャンプ1回を含む年間10日間の事業を実施し、中頓別町の自然に親しんでもらうことができた。 ○年に2回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に2名、2月に3名を派遣していただいた。また、希望者のみの参加に切り替え、リスクマネジメントの向上を図った。 ●教育委員会への事業主体の移行に伴い、事業にかかる燃料費の予算確保ができなかったため、町外でのキャンプの実施ができなかった。また、令和6年度に予定しているそうや自然学校の移管に伴い少年教育自然体験事業についても事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。 ◇参加者から宿泊キャンプを増やしてほしいという声が多々あったため、宿泊の回数を増やすことを検討する。 ◇事業にかかる燃料費を予算に計上する。

	・「ピンネシリ岳紅葉登山」 10月22日 8名参加 ・「雪遊び」 1月22日 4名参加 ・「冬の雪上運動会」 2月25日 7名参加		
高齢者いきいき教室運営事業	これまで学校形式「寿大学」から講座形式に工夫。 高齢者が時代に沿った社会的能力を高めるため、健康増進、教養の向上、交流など生きがいのある充実した生活を創造していくための計画的な学習の機会を提供や、自ら活動するサークル活動を支援していく。 <令和3年度> ・各種サークル活動 <令和4年度> ・各種サークル活動	○パソコンサークルや大正琴サークルなどは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ●いきいき教室単体の日程調整が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、うまくいかず教室等を満足に開催することができなかった。 ◇北海道で推進している道民カレッジ連携講座などを活用し、定期的な学習や趣味趣向の機会を提供できる検討を進める。	○パソコンサークルは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ●いきいき教室単体の日程調整が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、うまくいかず教室等を満足に開催することができなかった。 ◇中頓別文化塾などの講演会に参加してもらえるよう、積極的な呼びかけを行っていく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
社会教育委員会運営事業	社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するための職務を行う。 【事業内容】 ＜令和3年度＞ ・社会教育委員会会議 第1回 6月14日 第2回 12月8日 ・文化スポーツ表彰選考委員会 10月9日(8個人) ＜令和4年度＞ ・社会教育委員会会議 第1回 5月9日 第2回 9月13日 第3回 12月19日 第4回 3月23日 ・文化スポーツ表彰選考委員会 12月19日(1名)	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。 年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇委員が宗谷管内協議会、北海道ブロック大会への参加ができるよう、管内事務局と開催時期について積極的に調整依頼する。	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。 年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇委員が宗谷管内協議会、北海道ブロック大会への参加ができるよう、管内事務局と開催時期について積極的に調整依頼する。また、教育委員会行事にも参加してもらえよう働きかける。
各種研修派遣事業	団体やサークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。 ＜令和3年度＞ なし ＜令和4年度＞ なし	●継続的に中学生のリーダー養成事業への派遣が必要である。 ●各団体やサークルの指導者育成に対し積極的な取り組みがされていない。 ◇社会教育主事の関わり方を自主的に動けるように工夫して指導者としての役割を高める必要がある	●継続的に中学生のリーダー養成事業への派遣が必要である。 ●各団体やサークルの指導者育成に対し積極的な取り組みがされていない。 ◇社会教育主事の関わり方を自主的に動けるように工夫して指導者としての役割を高める必要がある。また、普段の活動から自主的に動けるよう団体やサークルに働きかける。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
車両維持 管理事業	社会教育事業推進のため 使用する車両の維持管理を 行う。	○社会教育領域及び学校教育 において有効に活用されてき た。 ◇文化・スポーツ振興のため、 各団体、サークルでの有効活 用に支障をきたさないよう、 適切な維持管理に努める。 ◇スポーツ巡回バスの更新を 検討する時期である。	○社会教育領域及び学校教育 において有効に活用されてき た。 ◇文化・スポーツ振興のため、 各団体、サークルでの有効活 用に支障をきたさないよう、 適切な維持管理に努める。 ◇スポーツ巡回バスやワゴン の更新を検討する時期であ る。
管内生涯 教育推進 協議会運 営負担事 業	管内の生涯学習推進関係 者や社会教育関係者等がそ の実践や研究協議を開催し、 管内の生涯学習情報の収集 と生涯学習関係者の資質の 向上を図る。	○管内の生涯学習状況の把握 と連携を図るため、社会教育 主事会へ当該職員の派遣をオ ンラインではあったが積極的 に行った。継続して積極的に 参加派遣を図る。 ◇継続して積極的に参加派遣 を図るとともに、近隣市町村 との密な関係を構築し連携す る。	○管内の生涯学習状況の把握 と連携を図るため、社会教育 主事会や北海道生涯学習セン ターの研修会へ当該職員の派 遣をオンラインではあったが 積極的に行った。継続して積 極的に参加派遣を図る。 ◇継続して積極的に各種会 議・研修会への参加派遣を図 るとともに、近隣市町村との 密な関係を構築し連携する。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
夢と希望を！感動体験事業	平成28年度から、次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的に、未来を担う子どもの健全育成と教育の基金を財源に、学校単位や、子ども育成会、分団活動、スポーツ少年団活動等において取り組む各種体験活動に補助金を支出する。 <令和3年度> ・中学校本物感動体験！修学旅行事業 300千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー 250千円 <令和4年度> ・中学校本物感動体験！修学旅行事業 300千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー 250千円	○文化（芸術）鑑賞など各分野における体験活動へおおむね支援することができた。 ●プロスポーツでは、日程的に日帰り開催となってしまうため、参加者にとって負担となりうる。 ●今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりツアーを開催することができなかったため、次年度は野球・サッカー・バスケの観戦を行いたい。 ◇プロスポーツ観戦においては、町内の関係団体・協会等で1事業として実施ができる仕組みを検討する必要がある。	○文化（芸術）鑑賞など各分野における体験活動へおおむね支援することができた。 ●今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりツアーを開催することができなかったため、次年度は新球場になる野球の観戦を行いたい。 ◇プロスポーツ観戦においては、町内の関係団体・協会等で1事業として実施ができる仕組みを検討する必要がある。 ◇スキーツアーの場所に関しては、近年名寄ピヤシリスキー場が続いているため、他の候補地がないか検討を進める必要がある。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民センター運営維持管理事業	地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。 別紙「利用状況」を参照	○常勤体制で管理人を配置することができた。 ●施設の老朽化が進み、雨漏りや壁面の欠落などがある。 ●備品等の更新が行われておらず、高齢者にとっては使いにくいものが多く、利用頻度が少なくなっているため、利用してもらえよう工夫する。 ◇常勤体制の管理人が1名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがある。2名体制にできるように調整していく。	○常勤体制で管理人を配置することができた。 ●施設の老朽化が進み、雨漏りや壁面の欠落などがある。 ●使えないトイレが増えてきており、その修繕をしていかなければならない。 ●備品等の更新が行われておらず、高齢者にとっては使いにくいものが多く、利用頻度が少なくなっているため、利用してもらえよう工夫する。 ◇常勤体制の管理人が1名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り後世に伝えるため、郷土に関する資料の保存と展示をしている。 健康で文化的生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。 ○柔剣道場利用団体 剣道少年団、柔道少年団 ○研修室利用団体 絵手紙サークル等 別紙「利用状況」を参照	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●専門的な職員がおらず、郷土資料館の展示品を上手く生かすことができていない。図書室も同様に意図的な購入図書の選定や事業展開ができていないため、専門的な職員が配置できるように調整していく。 ◇施設入館料を徴収しているが、近隣市町村と比べると展示品等の数や種類から無料化を検討すべきである。	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●専門的な職員がおらず、郷土資料館の展示品を上手く生かすことができていない。図書室も同様に意図的な購入図書の選定や事業展開ができていないため、専門的な職員が配置できるように調整していく。 ◇施設入館料を徴収しているが、近隣市町村と比べると展示品等の数や種類から無料化を検討すべきである。また、資料館の展示の仕方を考えていきたい。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
なかとんべつ子ども読書プラン事業	子どもがたくさんの本と出会う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備することを目的に平成22年に「中頼別町子ども読書プラン」を策定し、絵本の読み聞かせなどの活動を推進している。 【事業内容】 <令和3年度> ・推進会議 ・ブックスタート、読み聞かせ 5月19日、6月24日、8月19日、10月28日、11月18日、11月25日、1月20日 <令和4年度> ・推進会議 ・ブックスタート、読み聞かせ 5月12日、5月19日、6月23日、7月7日、8月18日、9月15日、11月17日、12月15日、1月19日、2月16日、3月17日	○図書ボランティアの活動も積極的であり、読み聞かせでは、さまざまな工夫を凝らし、本に親しみやすい環境づくり自主的な取り組みとなっている。 さらには、昨年度より回数も多く、青少年柔剣道場内和室を利用して読み聞かせを新規事業で実施し、読書推進を図ることができた。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながらこの事業を進めていきたい。	○図書ボランティアの活動も積極的であり、読み聞かせでは、さまざまな工夫を凝らし、本に親しみやすい環境づくり自主的な取り組みとなっている。 さらには、昨年度より回数も多く、青少年柔剣道場内和室を利用して読書推進を図ることができた。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながらこの事業を進めていきたい。また、令和5年度から代表が変わるため、新代表とともに様々な企画のアイデアを出していきたい。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
多目的集 会施設維 持管理事 業	小頓別地区住民のコミュニティー活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。 <令和3年度> 委託料 120,000 円 <令和4年度> 委託料 120,000 円 別紙「利用状況」を参照	○集落支援員の協力を得て、地域コミュニティ活動の拠点として維持管理を有効に行えている。 ◇引き続き他の施設の設備更新に合わせて中古ストーブの導入や窓ガラスの修繕を計画的に進める。	○集落支援員の協力を得て、地域コミュニティ活動の拠点として維持管理を有効に行えている。 ◇引き続き他の施設の設備更新に合わせて設備の更新や窓ガラスの修繕を計画的に進める。
創作活動 施設運営 管理事業	中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る 別紙「利用状況」を参照	○文化団体サークルのほか、交流会や親睦会などでの定期的に利用されている。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。	○文化団体サークルのほか、交流会や親睦会などでの定期的に利用されている。 ○中頓別派出所の社屋建て替えのため創作活動施設を利用しており、子どもたちの見守りの強化ができています。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。
英会話教 室運営事 業	ALT（英語指導助手）による英会話教室を開催し、英会話力の向上及び異文化交流を深める。 毎週 金曜日 10：30～12：00 町民センター第1研修室 <令和3年度> 英会話教室登録者数5名 <令和4年度> 英会話教室登録者数5名	○ALT（英語指導助手）と異文化交流ができる機会として、参加者が有意義となるような一般向けの教室の定期開催ができた。 学校授業での実施コマを増やしたほか、小学校低学年の授業や認定こども園での取り組みも継続して実施した。 ●令和2年度まで火曜日に行っていた英会話教室は、参加者がいないため中止とした。一般向け英会話教室を実施しているが、それを生かせる場がない。 ◇学校授業でのより一層の取り組みを進める。	○ALT（英語指導助手）と異文化交流ができる機会として、参加者が有意義となるような一般向けの教室の定期開催ができた。 学校授業での実施コマを増やしたほか、小学校低学年の授業や認定こども園での取り組みも継続して実施した。 ●一般向け英会話教室を実施しているが、それを生かせる場がない。 ◇学校授業でのより一層の取り組みを進めるとともに、一般向けの英会話教室の成果を発表できる場を作っていきたい。

②社会体育の充実

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
社会体育 推進事業	各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。 【事業内容】 ・スポーツ巡回車(26人乗り)の維持管理 ・スポーツ安全保険、レクリエーション保険の手続き等 【令和4年度】 ・卓球台 2台 (NT-3125)	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 スキー利用増の一端として各家庭で使用しなくなったスキー用品のリサイクルを継続実施した。 ●スキー用品のリサイクルを継続しているが、ボロボロになったものが多く、次の人へと引き渡す際に整備が必要となっている。またリサイクル品を振興公社と連携し進めていきたい。 ◇引き続き体育館備品など用具が老朽しているので、計画的な更新をする。また、スキー用品のリサイクルはある程度の基準を設けて、用品を整理していきたい。	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 スキー利用増の一端として各家庭で使用しなくなったスキー用品のリサイクルを継続実施した。 ●スキー用品のリサイクルを継続しているが、ボロボロになったものが多く、次の人へと引き渡す際の整備や古いスキーの処分が必要となっている。 ◇引き続き体育館備品など用具が老朽しているので、計画的な更新をする。また、スキー用品のリサイクルはある程度の基準を設けて、用品を整理していきたい。
スポーツ 推進委員 会運営事業	スポーツの推進のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 【事業内容】 スポーツ推進委員会の開催 ＜令和3年度＞ 第1回 7月15日 ＜令和4年度＞ 第1回 4月22日 第2回 6月17日 第3回 12月16日 第4回 2月14日 第5回 3月23日	○新型コロナウイルス感染症の影響により定期的に会議を開くことが出来なかったが、スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。若手の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。若手の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に行事のお手伝いをしてもらえるように周知する。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民各種スポーツ大会等運営事業	各種スポーツ大会等を通して、本町のスポーツの推進を図り、町民の健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 <令和3年度> (主催) ・町長杯パークゴルフ大会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・町民ソフトボール大会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・プールフェスタ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・第42回町民駅伝大会 9月5日(日) 全10チーム (後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日 (スポーツの日記念大会) ・町民バレーボール大会 ・教育長杯ゲートボール大会 ・町民バスケットボール大会 ・町民ミニバレー大会 ・町民卓球大会 中止 ・町民健康マラソン大会 10月10日 47名 <令和4年度> (主催) ・町長杯パークゴルフ大会 5月29日 21名 ・町民ソフトボール大会 6月26日 5チーム60名 ・プールフェスタ 8月7日 12名 ・第43回町民駅伝大会 9月4日(日) 全11チーム (後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日 (スポーツの日記念大会) ・町民バレーボール大会 ・教育長杯ゲートボール大会 ・町民バスケットボール大会 ・町民ミニバレー大会 ・町民卓球大会 中止 ・町民健康マラソン大会 10月10日 36名	○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。 また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ●大会・教室等の参加者が減少している。より多くの人に参加してもらえよう周知していく。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。 また、今後の継続すべき事業と終了すべき事業を協議し、検討する。	○各種スポーツ大会等の開催をとおして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。 また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者が少しづつではあるが、増加しているため、引き続き周知を強化していく。 ●新型コロナウイルス感染症の影響で行事を中止してしまったため、次年度以降はやれる方法を考える。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。 また、今後の継続すべき事業と終了すべき事業を協議し、検討する。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
冬季スポーツ教室等運営事業	冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 <令和3年度> ・一般スキー教室 1月15日、16日、22日、23日 2月5日、6日 小学生14名 一般9名 ・ジュニアアルペン教室 コロナにより中止 ・歩くスキー教室 2月25日 3月5日、12日 延6名 ・キッズスキー教室（未就学） コロナにより中止 ・キッズスキー教室（こども園） 1月31日2月3日、15日延10名 ・寿ジュニアスキー大会 コロナにより中止 ・町民スノーフェスティバル コロナにより中止 <令和4年度> ・一般スキー教室 1月21日、22日、29日 2月5日、6日 小学生14名 中学生3名 一般9名 ・ジュニアアルペン教室 1月14日、15日 ・歩くスキー教室 2月4日、11日、18日、25日 延6名 ・キッズスキー教室（未就学） 1月9日 2名 ・キッズスキー教室（こども園） 1月16日、18日、20日、23日 延12名 ・寿ジュニアスキー大会 2月5日 幼児2名 小学生30名 中学生3名 協力者41名 ・町民スノーフェスティバル 3月5日 スキー 幼児2名 小学生34名 中学生5名 一般9名 スノーボード 小学生8名 中学生2名 一般7名 協力者25名	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、協力が不可欠な支援員に参加いただいた。 冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、今年度はスノーボード教室をJSBA有資格者を招へいし、用具の点検から、技術指導までの教室を開催していただいた。 ●今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの行事を中止してしまった。 ●平日に行う行事については指導者・支援員の確保が難しいため、シーズン初めから声をかけられるように準備していききたい。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取り組む必要がある。 S A J バッジテストに受講料が必要なため、受講者の負担軽減を検討し、一人でも多くの方の技術向上を支援するための仕組みを早期に検討する。 運営委員会の在り方を検討すべきである。	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。 冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、他町村の指導者にも声をかけられた。今年度も初心者向けのスノーボード教室を、用具の点検から、技術指導までの教室を開催していただいた。 ●平日に行う行事については指導者・支援員の確保が難しいため、シーズン始まる前から声をかけられるように準備していききたい。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取り組む必要がある。 S A J バッジテストに受講料が必要なため、受講者の負担軽減を検討し、一人でも多くの方の技術向上を支援するための仕組みを早期に検討する。 冬季スポーツ推進委員会には大会やフェスティバルで今後も手伝ってもらえるようお願いしていく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
スポーツ 少年団本部運営補助事業	町内のスポーツ少年団の円滑な運営を図るとともに団員のスポーツ技術の向上と青少年の健全育成、各団体相互の親睦を図る。 【事業内容】 ＜令和3年度＞ ・団員 105 名 - 剣道 12 名、柔道 0 名、卓球 9 名、フットサル 18 名、スキー 43 名、ミニバス 23 名 ・結団式 中止 ・卒団式 中止 ・スポーツ少年団認定養成講習会への派遣 1 名 ＜令和4年度＞ ・団員 110 名 - 剣道 9 名、柔道 0 名、卓球 17 名、フットサル 20 名、スキー 37 名、ミニバス 27 名 ・結団式 5 月 28 日 ・卒団式 3 月 14 日	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。 また、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ●教育委員会が本来団体ですべき事務局をすべて担っており、団体の成長が著しく感じられない。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。 事務局を団体役員へ移行することを協議していく。	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。 また、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ○昨年まで新型コロナウイルス感染症の影響で中止をしていた結団式、卒団式を今年度から行うことができた。 ●教育委員会が本来団体ですべき事務局をすべて担っており、団体の成長が著しく感じられない。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。 ◇次年度は管内スポーツ少年大会が中頓別町で行われるため、少年団関係者に手伝ってもらえるよう周知する。
学校開放事業	学校体育館を開放し、町民のスポーツ活動を支援する。 主な利用団体 サッカー協会、バスケットボール協会、卓球協会、スポーツしない会、卓球少年団、フットサル少年団、ミニバスケットクラブ 別紙「利用状況」を参照	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ●新型コロナウイルス感染症の影響により施設の閉鎖があった。 ◇引き続き学校体育館の積極的な利活用を図る。	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている ◇引き続き学校体育館の積極的な利活用を図る。また、備品の入れ替えも検討していく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種スポーツ団体支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 <令和3年度> ・第14回中頓別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会中止 <令和4年度> ・第14回中頓別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会中止	○後援だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に行える体制を整えることができたが、大会が中止となった。	○後援だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に行える体制を整えることができたが、大会が中止となった。 ◇次年度以降も人的支援を整えられるよう準備する。
社会体育施設運営事業	町民体育館は、町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。 別紙「利用状況」を参照	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。 学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用してもらった。 ●施設の老朽化により、壁面等の欠落が多くなっている。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう工夫する必要がある。	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。 学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用してもらった。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くなっている。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境になるよう工夫する必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
山村プール運営事業	学校授業や子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となっている。 【事業内容】 ・山村プール内外の環境整備 ・施設の維持管理 ・水質管理と利用者への安全確保 ・夜間開放 別紙「利用状況」を参照	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっている。 ◇プール施設の開放時間の検討をする。また、監視員や清掃員の業務を委託できるか検討する。	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ○細谷建設に監視員が足りない日をお願いし、運営することができた。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっている。 ◇監視員や清掃員の業務を細谷建設等に委託できるか検討する。
寿野外レクリエーション施設事業	町の社会教育施設の管理を平成18年度から指定管理として中頓別振興公社に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の憩いの場として、円滑・効率的な運営管理を図っている。 【指定管理施設】 <令和3年度> ・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月8,470人 1月24,066人 2月18,588人 3月8,566人 計59,680人 ・ふれあいスポーツ広場 ・寿パークゴルフ場 シーズン券3件 利用者数372人 <令和4年度> ・中頓別町寿スキー場 リフト輸送人員 12月7,530人 1月24,274人 2月17,209人 3月7,337人 計56,350人 ・ふれあいスポーツ広場 ・寿パークゴルフ場 シーズン券4件 利用者数442人	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。 ◇令和4年度に可倒式ブラシポールを更新予定。 ◇リフト券などの料金設定や食堂をより利用してもらえるような仕組みづくりを検討する。	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。 ○ふれあいスポーツ広場は前年まで野球での使用しかなかったが、サッカーでの利用もあった。 ●悪天候等が原因で寿スキー場の利用が前年より減っている。 ◇寿スキー場やふれあいスポーツ広場、寿パークゴルフ場を使用してもらえるような仕組みづくりを検討する。

③地域文化の振興と文化財の保護

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民文化 推進事業	地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知ることや、お互いの交流を深める。また、地域的に優れた芸術文化に接する機会が少ないため、優れた芸術作品に接する鑑賞機会を設ける。 中頓別町の文化及びスポーツの振興発展に寄与し、特に実績の顕著な方の表彰に関する必要な事項を定め、中頓別町の文化及びスポーツの普及振興に資することを目的とする。 【事業内容】 <令和3年度> ○文化週間 9/9～11/7 ○文化祭 11/6～11/7 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 吹奏楽部 ○文化スポーツ表彰 ・文化優良賞 高山 聖加 氏 小倉 沙緒音 氏 山崎 しずる 氏 高橋 恵美子 氏 権城 豊美 氏 ・スポーツ優良賞 五十嵐 歩武 氏 今野 恭吾 氏 村山 綾菜 氏	○本町の伝統ある文化芸能活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。 文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にあるが、活動ができるように、活動日時の工夫などにサポートした。 パネルの組み立てなどは実行委員で行ってもらうこととした。 ◇文化祭プログラムの工夫のため関係団体と意見交換をしながら再考する。 実行委員会形式の意味合いを委員と協議し検討していきたい。	○本町の伝統ある文化芸能活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。 文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にあるが、活動ができるように、活動日時の工夫などにサポートした。 パネルの組み立てなどは実行委員で行ってもらうこととした。 ●文化祭時に団体からパネルの枚数を指定されるが、希望に添える枚数を出すことができていないため、パネルの有効活用ができるように工夫する。 ◇文化祭プログラムの工夫のため関係団体と意見交換をしながら再考する。また、実行委員会で楽しめる文化祭を企画していきたい。

	<令和4年度> ○文化週間 10/29～12/3 ○文化祭 10/29～10/30、12/3 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 ○文化スポーツ表彰 ・スポーツ優良賞 村田 地広 氏		
--	--	--	--

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
芸術文化 公演事業 (児童生徒芸術鑑賞事業)	日頃、舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にする心を養うため開催する。(財源充当を図るため、毎年、北海道巡回小劇場へ補助要望を進める) 【事業内容】 <令和3年度> ・12月22日 来場123人 Heven's music project <令和4年度> 巡回小劇場の実施がなかったため中止	○普段、優れた芸術文化に接する機会が少ないため、民族音楽の鑑賞会を行った。 ◇優れた芸術作品を鑑賞し児童、生徒が自ら発表する学芸会や学校祭に役立つ講演会となる演目となるよう、学校関係者とも意見交換を行いながら進める。	●巡回小劇場の実施がなかったため、芸術文化公演を行うことができなかった。 ◇優れた芸術作品を鑑賞し、園児、児童、生徒が自ら発表する学芸会や学校祭に役立つ講演会となる演目となるよう、学校関係者とも意見交換を行いながら進める。また、近年音楽系の作品が多いため、学校の希望に添えるものを進められるように準備する。
中 頓 別 文 化 塾	教育関係者を講師に招き、道内や全国各地における教育の現状を把握するとともに、住民が地域に対して興味関心を持ってもらうことを目的とする講演会を開催する。 【事業内容】 <令和3年度> ・第1回文化塾 12名 「次世代を担う若者による持続可能なまちづくり」 NPO法人 ezorock 代表理事 草野竹史氏 ・第2回文化塾 117名 「コロナ渦でも夢と希望を」 シンガーソングライター chima氏	●幅広く周知をする必要があり、できる限り会議や文化団体が集まる場に顔を出し、1人でも多く周知できるよう取り組む必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施してきた。 ◇次年度以降も引き続き事業を実施する。 地域住民に興味関心を持ってもらう講演会等を企画していきたい。	●幅広く周知をする必要があり、できる限り会議や文化団体が集まる場に顔を出し、1人でも多く周知できるよう取り組む必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施してきた。 ◇次年度以降も引き続き事業を実施する。 地域住民に興味関心を持ってもらう講演会等を企画していきたい。また、子どもを巻き込むことで多くの参加者が見込めるため、そのような講演会を企画したい。

	ラインペインティングパフォーマー 近藤 康平 氏 〈令和4年度〉 ・第1回文化塾 30名 「ダンスによるまちづくり」 宗谷ダンスプロジェクト 代表 小笠原 雄輝氏 ・第2回文化塾 22名 「逆境の今こそ、教育立村への挑戦～人口1600人の自治体×自然学校NPO、信念ある低空飛行を続ける～」 青森大学社会学部特任教授 NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センター 代表理事 辻 英之氏		
--	---	--	--

施策項目	取り組み概要	令和3年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和4年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種文化 団体支援 事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が支援し、文化スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 <令和3年度> ・道民芸術祭 11月6日～11月7日 <令和4年度> ・道民芸術祭 10月29日～10月30日	●文化団体会員の高齢化により、作品出展や出演について支援する準備をするが、参加等に至っていない。 ◇芸術文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みをサポートする。 また、文化団体が他市町村の芸術祭に出られるよう支援する。	○幌延町で行われた道民芸術祭俳句大会に中頓別町文化団体のやまなみ吟社が参加し、支援することができた。 ●文化団体会員の高齢化により、作品出展や出演について支援する準備をするが、参加等に至っていない。 ◇芸術文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。また、文化団体が他市町村の芸術祭に出られるよう支援する。
文化財保 護委員会 運営事業	本町の区域内に所在する文化財(国又は道の指定するものを含む)の、保全及び活用のため必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。 【事業内容】 <令和3年度> ・調査活動 新型コロナウイルス感染症のため中止 <令和4年度> ・調査活動 5月24日4名	●旧丹波屋旅館の保存については、NPO法人によるクラウドファンディングで新たな取り組みを模索している。 ◇高山植物群の一般公開の可能性について、引き続き第三者からの助言を得ながら検討する勉強会を開催するよう検討する。	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。 ◇高山植物群の一般公開の可能性について、引き続き第三者からの助言を得ながら検討する。また、文化財保護委員の高齢化に伴い、新しい人材を発掘する。

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場所	内容	対象者	教育支援員等
総合学習支援	3年生	9月26日	ヤマフクコーヒー 「食と自然」インタビュー ・飲食店へのインタビューの実施	3年生 6名	【ヤマフクコーヒー】 蓮尾愛氏
		9月、10月	小学校（書面） 「食と自然」書面質問 【食】 ・お店について ・メニューについて 【自然】 ・砂金について ・鍾乳洞について ・蛍について	3年生 6名	【Cina deux.】 【八番食堂】 【中野商店】 【食楽厨房まるや】 【産業課】 【個人】 田辺毅氏
	4年生	9月5日 7日 13日 15日	小学校 楽器作り ・楽器作成（木工） ・和音について ・音階について ・作曲・即興演奏	4年生 7名	【北海道教育大学旭川高】 芳賀准教授、生徒延 11名
		9月26日	小学校（座学） 旭台地区山林（楽器演奏、植樹体験） 座学・植樹体験 ・森林の役割について ・林業について ・楽器演奏 ・下刈り見学 ・植樹体験 ・樹種の説明	4年生 7名	【森林組合】 2名 【森林室】 2名 【北海道教育大学旭川高】 芳賀准教授
		11月25日	小学校 中頓別町のイベントについて インタビュー授業 ・しばれ祭りについて ・イベントについて	4年生 3名	【観光協会】 細谷陽一氏
		12月3日	小学校 (学習発表会にて) ・作曲した曲の発表(作成した楽器を用いて)	4年生 7名	

	3、4年生	12月14日	小学校	バターづくり体験 ・酪農クイズ ・(なかとん牛乳を用いての) バター作り体験	3, 4年生 13名	【東宗谷農協中頓別支店】2名 【農協青年部】4名 【日本農業新聞】 伊藤香織氏
		2月24日	小学校	東野小学校 ZOOM 交流授業 1 ・自己紹介、学校紹介、交流	3, 4年生 13名	【東野小学校】
		3月10日	小学校	東野小学校 ZOOM 交流授業 2 ・総合学習成果発表会	3, 4, 6年生 30名	【東野小学校】
	5年生	11月2日 ※中止	町民センター	敬老会発表	5年生 14名	【保健福祉課】
		11月25日	小学校	認知症サポーター養成講座	5年生 14名	【保健福祉課】3名
		12月21日	小学校	長寿園インタビュー ・長寿園での利用者の生活 ・認知症について ・介護福祉士について	5年生 14名	【養護老人ホーム長寿園】 3名
		2月27日	こども園	こども園訪問 ・読み聞かせ ・歌やダンスの発表(双方)	5年生 14名	【こども園】
	6年生	【酪農】 11月15日 【地域おこし】 11月16日 【子育て支援】 11月22日 【福祉】 12月7日	【子育て支援】 保健センター 【その他】 小学校	「中頓別の魅力を再確認し発信しよう」インタビュー授業 【酪農】 【地域おこし】 【子育て支援】 【福祉】 ・各テーマについてのインタビュー	6年生 17名	【酪農】 澤里尚広氏 【地域おこし】 中野巧都氏 【子育て支援】 保健福祉課 【福祉】 天北厚生園 斎藤淳司氏
	生活科	8月25日 9月15日	郷土資料館図書室	2年生図書館訪問 ・図書館見学(8月25日) ・インタビュー(9月15日)	2年生 12名	【郷土資料館図書室】 松田留美氏
	国語	10月24日	北海道開発局 除雪ステーション	1年生除雪車見学 ・除雪車についての説明 ・操作体験	1年生 10名	【開発局】 8名 【丹羽建設】 6名

社会科	浄水場見学	6月28日	中頓別浄水場	4年生「住みよい暮らしをつくる」浄水場見学 ・施設説明 ・質問	4年生 7名	【浄水場】 4名 【役場建設課】 後藤晃昭氏
	消防署見学	7月14日	南宗谷消防組合中頓別支署	3年生「暮らしを守る」消防署見学 ・仕事・訓練について ・車両見学 ・放水体験	3年生 6名	【消防職員】 5名
	下水処理場見学	7月19日	中頓別町下水道管理センター	4年生「住みよい暮らしをつくる」下水処理場見学 ・施設説明 ・微生物観察（顕微鏡）	4年生 7名	【下水道管理センター】 4名 【役場建設課】 後藤晃昭氏
	駐在所見学	8月29日	中頓別駐在所	3年生「暮らしを守る」駐在所見学 ・仕事について ・車両見学	3年生 6名	【中頓別駐在所】 布村博幸氏
	ごみ処理場見学	9月1日	中頓別町一般廃棄物埋立処理施設	4年生「住みよい暮らしをつくる」ゴミ処理場見学 ・施設説明・見学 ・質問	4年生 7名	【中頓別振興公社】 4名
	防災学習会	9月29日	中頓別町役場	4年生「自然災害から暮らしを守る」防災学習会 ・防災備蓄品説明 ・設置体験	4年生 7名	【役場総務課】 市本参事
	スーパー見学	10月12日	フレッシュフードやすかわ	3年生「はたらく人とわたしたちの暮らし」スーパー見学 ・仕事について ・商品、陳列等について	3年生 6名	【フレッシュフードやすかわ】 安川裕一氏
	茶道	11月30日	町民センター和室	6年生「歴史」茶道 ・お茶の伝来について ・茶道体験（所作・点前）	6年生 16名 （ZOOM：1名）	【茶道サークル】 7名
支援	水泳授業	7、8、9月 計9回	山村水泳プール	水泳授業支援（全学年）	全校児童 68名	11名

授業支援 スキー	1、2月 計9回	寿スキー場	スキー授業指導支援(全学年)	全校児童 66名	7名
クス掛け スキーワッ ツ	11月22日～ 12月16日 (土日月祝除)	町民センター	児童のスキー板のワックス掛け	全校児童 66名	【教育委員会】 4名
人権教室	8月29日 30日	小学校	各学年人権教室 ・1、2年生「いっちゃんごめんね」 ・3、4年生「プレゼント」 ・5、6年生「しらんぷり」	全校児童	【人権擁護委員】2名
ゆめのたねづくり	12月7日	小学校	4年生学活「ゆめのたねづくり」 ・税についてのワークショップ ・ゆめのたねづくり(役場ホールモニュメントへ将来の夢を預ける)	4年生 7名	前田あやの氏 【産業課】 2名
整備活動 学校環境 畑おこし	5月16日	小学校 畑	畑おこし		井上光生氏 井上ひとみ氏

②中頓別中学校

事業	開催日	場所	内容	対象者	教育支援員等
総合学習支援	6月28日	中学校	チェロについて ・チェロについて(歴史、音、等) ・チェロ演奏体験 ・質疑応答	1年生 6名	(石井友法)
	8月29日	そうや自然学校	自然体験学習 ・木工 ・川遊び	1年生 6名	【そうや自然学校】2名
	8月31日	もうもう	牛乳を用いた調理実習 ・アイス作り ・プリン作り ・牛乳豆腐の作り方	1年生 6名	【もうもう】2名 【産業課】4名 (インターン学生3名含)
	6月2日	受入れ先職場	職場体験 (こども園、小学校、動物病院、病院、農協、里芋と蜂蜜)	2年生 8名	各職場

授業支援 柔道	11、12月 計8回	柔剣道場	1、2年生の柔道授業支援	1、2年生 14名	丸山博光氏
ス掛け スキー ワック	11月22日～ 12月16日 (土日月祝除)	町民センター	生徒のスキー板のワックス掛け	全校生徒 24名	【教育委員会】4名
人権教室	11月 8日、9日、 10日	中学校	各学年人権教室 ・1年生「いじめと戦おう」 ・2年生「インターネットと人権」 ・3年生「スマホの安全な使い方」	全校生徒 24名	【人権擁護委員】3名

③学校図書・読書の支援

小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録、 図書室模様替え、図書整理	読み聞かせボラン ティアサークル このゆびと〜まれ！
こども園	絵本の読み聞かせ	

2. 小学校・中学校との定期打合せ
 - 小学校…毎週火・木打合せ
 - 中学校…毎週火打合せ
3. 活動紹介(広報周知)
 - ボランティア活動便り「たすけ愛」の発行
6、7、8、9、10、11、12月の7回発行
 - SNSでの紹介(中頓別町 FB、教育委員会 Instagram)
随時
4. 交流事業(講演会含む)の開催

①夏休み体験学習

開催日	場所	内容	参加人数
8月1日(月)	町民センター、 鍾乳洞	写真絵本作成会 講師…小寺卓矢	17名

②親子水泳教室

開催日	場所	内容	参加人数
7月26日(火) 8月2日(火) 5日(金)	山村水泳プール	親子で水泳の基礎を学び、安全に水泳を楽しむため、地域の経験者に基本的な指導をしてもらい、水泳技術の向上と体力増進を図った。	延42名 (登録者 22名)

③子どもチャレンジ教室

開催日	場所	内容	参加人数	教育支援員等
7月26日(月) 27日(火)	そうや自然学校、 頓別川	自然体験活動(川遊び、火起こし、薪割り等) キャンプ	25名 (宿泊13名)	7名 (内、2名 大学生)
2月25日(土) 26日(日)	そうや自然学校	25日雪上運動会、野外活動 26日野外料理・活動	延18名	8名 大学生3名

【なかとんべつ放課後子どもプラン（教室）事業】

参加登録人数 59 名

（平日）

月	実施日	活動場所	主な活動内容(常時活動を除く)	延人数
4	16	町民センター	工作(こどもの日、母の日等)、作文、絵、開講式(職員紹介、自己紹介)	276
5	19	町民センター、 憩いの広場、 小学校校庭	こいのぼり、戸外活動、クリーン作戦、種まき、花摘み、工作、体力測定、植樹体験	412
6	22	町民センター、 こども園園庭、 町民体育館	工作(父の日)かけっこ教室、球根掘り、花壇づくり、手紙郵送、戸外活動、読書	486
7	20	町民センター、 こども園園庭、 小学校グラウンド	工作(お祭り)、ミニ運動会、桜の実採り、花摘み、草木染、顔出しパネル作り、体力測定、プラン祭	434
8	22	町民センター、 山村プール	障子張り替え、作文、花壇活動、草木染	376
9	20	町民センター、 小学校グラウンド、 憩いの広場、 小学校裏	工作(敬老の日)、戸外遊び、お別れ会、サッカー、なぞとき脱出ゲーム、ミニ運動会、森林教室、松ぼっくり拾い	383
10	20	町民センター、 寿公園、バスターミナル、 小学校校庭	森林教室、松ぼっくり拾い、どんぐり拾い、手紙、工作(ハロウィン、文化祭作品)、ハロウィンパーティー	362
11	20	町民センター、 小学校校庭	チューリップ球根植え、戸外活動、工作、オセロ大会、百人一首	369
12	21	町民センター	手芸(指編み)、工作(クリスマス、成人式作品)、クリスマスツリー飾りつけ、モルック	295
1	18	町民センター	作文、工作(冬、節分)、豆まき会準備	287
2	19	町民センター	射的、節分会、モルック、戸外遊び、工作(バレンタイン、ひな祭り)、手芸(指編み)、スライドショー扉絵づくり	377
3	22	町民センター、 図書館、郷土資料館	作文、ひな祭り会、手紙、工作(プレゼント)、6年生を送る会、閉講式(司会、スライドショー)、	373
合計	239 日			4,430 人

(うち、長期休業期間中)

月	実施日	活動場所	主な活動内容	延人数
4	3	町民センター	自己紹介、館内案内、工作	24
7	4	町民センター、 認定こども園	絵本キャラバン見学、図書館へ行こう、読書、スタンプラリー、科学で遊ぼう、グランドゴルフ、音楽レク(大学生)、チョークでお絵かき	55
8	11	町民センター、 鍾乳洞、山村 プール、消防 署	写真絵本作り参加、花壇活動、ジェスチャーゲーム、水遊び、プール、手紙、工作(七夕飾り)、花摘み、押し花、書道教室、消防署見学、障子張り替え	159
12	4	町民センター、 小学校グラウンド	工作、図書館利用、読書、運動会、大掃除	45
1	7	町民センター、	書初め、工作(正月飾り、節分お面)、正月遊び、段ボール遊び、戸外活動、モルック、手芸(指編み)	84
3	6	町民センター	モルック、図書館利用、工作(プレゼント)、郷土資料館見学、避難訓練、大掃除	73
合計	35 日			440 人

(常時活動)

宿題・プリント 毎日
運動 月3～5回程度
おもしろ教室 毎週月曜日
英語タイム 隔週火曜日
おやつ提供 隔週金曜日

※おもしろ教室は、教育長を講師として活動。

【家庭教育支援事業】

①ブックスタート（読み聞かせ、本のプレゼント）

開催日	令和4年5月19日（木）、8月18日（木）、11月17日（木） 令和5年2月16日（木）
目的	幼児期のことばと心を育むため温かなぬくもりの中で、優しく語り合う時間を設け、親子で絵本を開く楽しいひとときを分かち合うことを目的とする。
場所	保健センター
講師	図書ボランティアサークル
参加者	4名（対象4名）

②キッズスキー室（未就学児）

開催日	令和5年1月9日（月）
目的	未就学児を対象にスキーに親しむ心を養い、戸外活動の促進定着を目指す。
講師	スキー協会2名
参加者	2名

③キッズスキー教室（こども園年長児）

開催日	令和5年1月16日（月）、1月18日（水）、1月20日（金）、1月23日（月）
目的	冬季戸外活動を実施し、スキー体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、屋外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスキー授業へのスムーズな導入を目標とする。
場所	寿スキー場
講師	こども園大島園長、スキー協会3名、教育委員会3名
参加者	こども園年長児12名、延23名

④スキーワックス掛け事業

開催日	令和4年11月22日より令和4年12月16日（土日月祝日除く）
場所	町民センター
支援員	教育委員会4名
目的	こども園園児がスキーシーズン初めから安全に滑れるよう、スキー板へのワックスがけを実施。（小学校、中学校への学校支援事業としても実施している。）

⑤こども園人権教室

開催日	令和5年1月30日（月）
場所	こども園
講師	井野人権擁護委員
目的	友達への優しい言葉がけや行動について話し、思いやりの心について考える時間とする。

【資 料】

宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況

項 目	日 程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
教育委員会訪問	05.03.03	教育局長、次長、義務教育指導監、企画総務課長、教育支援課長、義務教育指導班主査、社会教育指導班主査	教育委員会 (Zoom 開催)	○本町の教育全般に係る意見交換 ○各学校経営内容全般
学校教育指導 (学校経営訪問) 一次訪問	04.06.21	義務教育指導監 (Zoom 開催)	中頓別中学校	○学校経営計画等についての説明 ○学校経営や授業について指導監よりの教示
			中頓別小学校	○学校経営の概要説明 ○指導監より指導・助言
学校教育指導 (学校経営訪問) 二次訪問	04.09.09	義務教育指導監 (直接訪問)	中頓別小学校	○授業参観(全教室) ○「学校経営マネジメントシート」に基づく協議及び助言
	04.08.30	義務教育指導監 主査 (直接訪問)	中頓別中学校	○学校経営計画等についての説明 ○全学年授業参観 ○学校経営や授業について指導監よりの教示
学校教育指導 一次訪問	04.06.21	義務教育指導監 (Zoom 開催)	中頓別小学校	○学力向上の取り組みについて ○校内研修の取り組みについて ○指導主事からの指導・助言
	04.06.21	義務教育指導監 (Zoom 開催)	中頓別中学校	○学校経営方針・重点・取り組み状況等の説明 ○今年度の研究主題と本校の学力向上の取組についての説明
学校教育指導 要請訪問	04.07.20	義務教育指導班 主査	中頓別中学校	○授業参観(数学科)
	04.11.15	義務教育指導班 主査	中頓別中学校	○校内研究説明・指導案等協議 ○特設授業①(1年英語) ○特設授業②(2年国語) ○授業改善等に関する協議

学校教育 指導 二次訪問	04.8.30	義務教育指導監 主査 (直接訪問)	中頓別中学校	○教育課程等に関する協議 ○授業参観（1年、2年、3年、3B） ○指導助言 ○特設授業（数学） ○研究協議
	04.11.28	義務教育指導班 主査 (直接訪問)	中頓別小学校	○教育課程等に関する協議 ○特設授業（2年） ○全学級授業参観 ○授業改善等に関する協議

■町民センター

年度	平成29年度		平成30年度		平成31年度 (令和元年度)		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
部屋別	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
大ホール	17	2,530	32	3,251	63	4,121	32	866	49	1,883	58	881
第1研修室	77	394	65	364	71	377	49	188	42	203	81	287
和室1・2	51	598	135	1,864	127	1,678	106	495	114	546	482	5,181
第2・3研修室	2	82	80	267	52	223	70	896	71	1,422	55	1,091
レク室	21	699	37	957	41	1,002	42	318	28	199	65	643
視聴覚室	3	352	2	106	6	134	1	8	1	8	2	11
調理室	45	109	50	201	63	224	86	320	78	346	47	537
茶室	36	320	36	320	36	316	32	147	38	209	39	172
青少年研修室	1	2	3	16	8	20	7	54	7	51	12	65
応接室	244	3,416	244	4,806	244	4,880	243	4,781	242	6,608		
計	497	8,502	684	12,152	711	12,975	668	8,073	670	11,475	841	8,868
使用料(円)	142,073		176,802		48,556		84,277		99,583		130,098	

※令和4年度より応接室は教育長室となったため貸し出ししていない。

■郷土資料館

区 分			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館日数			308	307	310	312	307	307	307	280	283	242	308
有 料	大 人	個人	78	87	122	122	125	111	109	158	103	87	142
		団体	0	40	24	21	0	0	0	0	0	0	0
	小 人	個人	2	5	8	2	5	1	3	1	4	0	6
		団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計			80	132	154	145	130	112	112	159	107	87
使用料合計			9,480	14,740	17,520	16,860	15,300	13,380	13,260	19,020	12,600	10,440	17,400
無 料	大人		95	19	33	55	59	156	113	34	10	16	66
	小人		67	88	85	74	59	27	47	17	33	7	30
	計		162	107	118	129	118	183	160	51	43	23	96
合計			242	239	272	274	248	295	272	210	150	110	244

■青少年柔剣道場

《 柔剣道場 》

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
柔 道	回数	57	84	79	73	29	14	10	10	0	8	8
	人数	570	740	780	422	118	155	140	90	0	64	47
剣 道	回数	116	126	138	129	124	133	133	123	114	76	89
	人数	857	1,176	1,316	1,090	913	1,456	1,698	1,466	1,178	581	468
そ の 他	回数	45	53	54	15	11	1	1	2	17	36	45
	人数	634	571	538	189	191	1	12	5	110	209	368
合 計	回数	218	263	271	217	164	148	125	125	131	120	142
	人数	2,061	2,487	2,634	1,701	1,222	1,612	1,850	1,561	1,288	854	883
使用料(円)		65,506	44,630	49,730	6,680	6,680	10,616	3,920	2,720	14,900	17,250	18,840

《 研修室 》

区 分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
無 料	回 数	33	47	47	58	35	33	33	47	27	13	18	16
	人 数	341	390	348	384	244	230	193	156	204	63	75	80
有 料	回 数	0	4	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0
	人 数	0	32	0	20	10	4	0	0	15	0	0	0
計	回 数	33	51	47	60	36	34	33	47	28	13	18	16
	人 数	341	422	348	404	254	234	193	156	219	63	75	80

《 図書室 》

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
開館日数	308	308	307	310	312	307	307	308	280	283	301	308	
利用者数	一般	2,143	1,756	1,174	1,091	1,109	875	882	907	777	720	852	980
	中高生	254	182	156	126	94	54	68	86	79	21	25	23
	小学生以下	2,179	1,506	1,293	828	796	380	386	363	385	447	541	621
	計	4,576	3,752	2,623	2,045	1,999	1,309	1,336	1,356	1,241	1,188	1,418	1,624
貸出冊数	一般	6,767	5,454	4,168	3,620	3,741	2,879	2,967	3,145	2,841	3,039	3,056	3,385
	中高生	236	142	140	391	226	208	149	297	144	61	113	126
	小学生以下	3,729	2,800	3,477	2,586	2,575	1,456	1,267	1,228	880	1,431	1,698	1,732
	道移図書	500	31	398	66	0	39	15	11	44	38	58	41
	計	11,232	8,427	8,183	6,663	6,542	4,582	4,398	4,681	3,909	4,569	4,925	5,284
	うち児童書	5,650	4,029	4,214	3,360	3,631	2,211	1,774	2,370	2,269	2,771	2,957	2,622

■小頃別多目的集会所施設利用状況

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
無料							
利用日数	24	17	14	10	4	0	4
利用人数	229	256	123	89	53	0	41
有料							
利用日数	5	0	2	0	0	0	2
利用人数	580	0	280	0	0	0	30
使用料	87,780	0	47,125	0	0	0	14,360
利用日数	29	17	16	10	4	0	6
利用人数	809	256	403	89	53	0	71

■創作活動施設使用状況

利用別	団体名	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度 (令和元年度)			令和2年度			令和3年度			令和4年度			備考
		人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	人数	回数	延べ人数	
無料	やまなみ吟社(俳句会)	6	6	27	6	3	18	7	6	42	7	8	56	7	8	51	6	4	24	6	7	42	毎月第3水曜日
	陶芸サークル	4	102	219	7	88	182	6	60	120	5	52	122	7	35	140	7	45	133	6	38	118	4月～10月第2、第4水曜、水曜
	文化協会	22	1	22							15	1	15	7	1	7							5月
	子ども安全パトロール隊	20	1	20																			7月
	パークゴルフ協会会館	31	2	62	30	1	30	30	1	30	23	1	23										5月、11月
	ゲートボール協会会館				19	1	19	19	1	19													放課後子どもプラン
	教育委員会関係行事	15	120	1800				42	1	42													
	白百合会																						
	中頃別吹奏楽団							10	11	110	10	10	54										
	小計	98	232	2,150	62	93	249	104	69	253	50	62	216	21	44	198	13	49	157	12	45	160	
有料	パークゴルフ協会総会																						
	個人1																						
	個人2																						
	個人3(教育文化関係団体の役員等)			1	10																		
	個人4																						
	パークゴルフ協会忘年会			1	30																		
	ゲートボール協会新年会			1	11																		
	子ども安全パトロール隊																						
	中頃別神社総代会																						
	教職員互助会			1	35		1	30		0	30	1	30										
使用料計	中頃別神社祭典実行委員会			1	20																		
	中頃別吹奏楽団							10	1	10	10	1	10										
	小計	0	5	106	0	1	30	10	1	10	40	2	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	使用料計	1,832	237	2,256	62	94	279	114	70	263	90	64	256	21	44	198	13	49	157	12	45	160	
合計		98	237	2,256	340	94	279	114	70	263	1,360	64	256	21	44	198	0	0	157	12	45	160	

■学校開放
《中頓別小学校体育館》

区 分	使用料		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
卓球スポーツ少年団 火、土	無料	回数	3	6	5	6	4	26	2		
		人数	18	38	37	33	33	179	40		
		回数	25	23	7	28	30	17	29		
人数		173	102	19	229	308	255	412			
回数		20	42	42	38	31	31	34			
人数		387	954	759	710	561	606	1,032			
回数						18	21	20			
人数						231	267	249			
回数					2			2			
人数					110			90			
回数					1						
人数					20						
回数					3						
人数					17						
回数					48	71	54	78	83	95	87
人数					578	1,094	815	1,119	1,133	1,307	1,823
バスケットボール協会 火	有料	回数	36	35	44	36	20	14	3		
		人数	528	604	795	431	87	121	31		
		回数		2	3	1	16	13	1		
人数			14	19	14	149	92	9			
回数		30	43	39	32	16	17	36			
人数		192	303	210	154	61	34	562			
回数		37	30	26	31	24	24	29			
人数		355	258	152	139	99	83	120			
回数				4	5						
人数				12	24						
回数				9	29	31	27	30			
人数				41	89	87	96	134			
回数								21			
人数								202			
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											
人数											
回数											

■社会体育施設
《町民体育館団体利用状況》

区 分	使用料		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
ゲートボール協会 (月・水・木・日)	有料	回数	112	107	107	157	56	83	100	
		人数	943	779	804	777	504	588	486	
卓球愛好会 月・火・木		回数	97	49	34	21	1	57	57	
		人数	305	158	95	67	19	136	109	
バレーボール協会 月・木		回数	60	55	44	22	35	25	40	
		人数	730	656	656	287	332	307	536	
育児婦人運動部 火・金		回数	40	6						
		人数	242	34						
ミニバレー愛好会 水		回数	43	40	42	46	44	28	41	
		人数	342	304	358	427	399	252	372	
ミニバレーを楽しむ会 金		回数	25	24	16	10	7	3	0	
		人数	265	245	166	90	67	22	0	
パークゴルフ協会		回数								
		人数								
バドミントン愛好会 火		回数	6	5	18	1				
		人数	32	33	114	3				
スポーツしない会? 土		回数	8	2	3	3	4	3	4	
		人数	91	6	7	14	16	11	18	
卓球協会 土		回数					1	1		
		人数					19	14		
走友会 月・火		回数					12			
		人数					36			
その他		回数							2	
		人数							2	
小 計		回数		391	288	264	260	160	200	244
		人数		2,950	2,215	2,200	1,665	1,392	1,330	1,523
中頓別中学校	無料	回数	6	7	44	1	29	17	39	
		人数	83	98	396	12	295	135	219	
小 計		回数	6	7	44	1	29	17	39	
		人数	83	98	396	12	295	135	219	
合 計		回数	397	295	308	261	189	217	283	
		人数	3,033	2,313	2,596	1,677	1,687	1,465	1,742	
使用料(円)			257,889	249,141	137,599	137,599	139,200	126,800	125,510	

■山村水泳プール

年度			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
時間 帯別	開館日数		66	59	52	58	70	52	65
		大人	91	90	10	26	53	80	95
		小人	207	325	151	167	163	233	228
		午後	200	94	49	30	125	190	186
	夜間	小人	582	400	322	446	522	595	554
		大人	42	38	37	52	38	6	14
		小人	30	20	34	42	38	2	32
		午後	25	23	9	11	22	45	56
	有料	午後	137	63	50	92	114	140	126
		夜間	0	3	2	1	0	6	0
料金別	無料	団体	530	559	374	303	281	384	466
		小人(団体除く)	460	319	581	42	468	531	450
	人数計		1,152	967	1,016	449	885	1,106	1,098
	使用料(円)		7,400	16,400	8,900	9,800	13,600	19,100	18,200

■寿野外レクリエーション施設
《寿スキー場 リフト券販売状況》

区 分	対象	単価	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度 (令和元年度)		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
シーズン券	大人	13,000	42	546,000	45	585,000	48	624,000	49	637,000	49	637,000	69	897,000	69	897,000
	高校生以下	7,000	44	308,000	55	385,000	53	371,000	59	413,000	58	406,000	63	441,000	65	455,000
	60歳以上	7,000	9	63,000	12	84,000	21	147,000	14	98,000	18	126,000	21	147,000	15	105,000
			0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
回数券 (11回券)	大人	1,300	425	552,500	374	486,200	497	646,100	485	630,500	469	609,700	471	612,300	408	530,400
	高校生以下	800	401	320,800	396	316,800	453	362,400	470	376,000	336	268,800	279	223,200	236	188,800
	60歳以上	800	3	2,400	11	8,800	22	17,600	7	5,600	14	11,200	6	4,800	10	8,000
1 日 券	大人	1,950	55	107,250	90	175,500	167	325,650	220	429,000	191	372,450	159	310,050	271	528,450
	高校生以下	1,200	101	121,200	94	112,800	205	246,000	246	295,200	174	208,800	135	162,000	102	122,400
	60歳以上	1,200	1	1,200	2	2,400	3	3,600	22	26,400	7	8,400	2	2,400	8	9,600
1 回 券	大人	130	332	43,160	417	54,210	425	55,250	511	66,430	210	27,300	261	33,930	213	27,690
	高校生以下	80	204	16,320	271	21,680	291	23,280	173	13,840	174	13,920	241	19,280	103	8,240
	60歳以上	80	0	0	3	240	16	1,280	17	1,360	1	80	3	240	7	560
団 体		1,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	パトロール員	8,000	8	64,000	6	48,000	7	56,000	8	64,000	5	40,000	6	48,000	5	40,000
	大人減免	1,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	84,500
	高校生以下減免	480	0	11,200	0	8,800	0	0	0	0	0	0	0	0	412	197,760
	学校授業大人	780	188	146,640	85	66,300	98	76,440	203	158,340	155	120,900	193	150,540	175	136,500
	学校授業小人	480	1,112	533,760	848	407,040	848	407,040	877	420,960	807	387,360	851	408,480	757	363,360
計				2,837,430		2,762,770		3,362,640		3,635,630		3,237,910		3,460,220		3,703,260
合計				2,837,430		2,762,770		3,362,640		3,635,630		3,237,910		3,460,220		3,703,260
営業日数/リフト輸送人員			81日	35,045人	82日	37,162人	80日	38,835人	82日	50,114人	86日/55,445人	73日/59,680人	81日/56,350人			

※月別リフト輸送人員

	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	営業日
12月	4,171	4,325	6,752	7,723	9,218	8,470	7,530	13
1月	17,853	18,938	22,539	22,840	23,161	24,056	24,274	31
2月	11,781	12,362	16,440	16,110	16,036	18,588	17,209	26
3月	3,357	3,219	4,383	6,541	7,030	8,566	7,337	11
計	37,162	38,835	50,114	53,214	55,445	59,680	56,350	81

《 パークゴルフ場 》

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度 (令和元年度)		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
シーズン券町内	65	260,000	59	236,000	57	228,000	55	220,000	51	204,000	49	196,000	4	16,000
シーズン券町外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	65	260,000	59	236,000	57	228,000	55	220,000	51	204,000	49	196,000	4	16,000
1日券町内	272	54,400	306	61,200	298	59,600	318	63,600	150	30,000	156	31,200	162	32,400
1日券町外	420	126,000	584	175,200	527	158,100	524	157,200	166	49,800	112	33,600	280	84,000
小計	692	180,400	890	236,400	825	217,700	842	220,800	316	79,800	268	64,800	442	116,400
合計	757	440,400	949	472,400	882	445,700	897	440,800	367	283,800	317	260,800	446	132,400

《 テニスコート 》

区分	使用料	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度 (令和元年度)		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
町内	200	12	2,400	11	2,200	7	1,400	12	2,400	5	1,000	17	3,400	3	600
町外	300	20	6,000	20	6,000	19	5,700	20	6,000	19	5,700	40	12,000	15	4,500
計		32	8,400	31	8,200	26	7,100	32	8,400	24	6,700	57	15,400	18	5,100

教育関係団体活動状況

□体育団体関係

令和5年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
スポーツ協会	1	サッカー協会	工藤 正勝	桜田 正考	小学校体育館 ふれあいスポーツ広場(夏期のみ)	毎週水曜日	19:00～21:00
	2	バスケットボール協会	古谷 裕一	福島 靖弘	小学校体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	3	バレーボール協会	寺島 寛	齋藤 容子 小林真由美	町体育館	毎週月・木曜日	19:00～21:00
	4	スキー協会	千田 和彦	長谷川克弘	寿スキー場	シーズン中	随時
	5	走友会	石神 忠信	石神 忠信	通年 冬期:小学校体育館	随時 冬期:月曜日	随時 19:00～21:00
	6	パークゴルフ協会	赤川 慶一	赤川 慶一	寿公園パークゴルフ場	5～10月 随時	5:00～12:00 13:00～19:00
	7	ゲートボール協会	川久保克孝	藤井 富子	夏期:メモリアルパーク 冬期:町民体育館	夏期:随時 冬期:日・月・水・木・土曜日	8:30～11:30
	8	野球連盟	今野 真二	星川 慎吾	夏期:ふれあいスポーツ広場 冬期:小学校体育館	夏期:月・水・金曜日 冬期:金曜日	18:00～20:00
	9	剣道連盟	十倉 仁	渋谷 義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	10	柔道協会	後藤 敏直	丸山 博光	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	11	卓球協会	長谷川克弘	本間 智久	小学校体育館	毎週木曜日	19:00～21:00
スポーツ少年団	1	剣道少年団	渋谷 義深	渋谷 義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	2	柔道少年団	丸山 博光	古谷 裕一	青少年柔剣道場	毎週土曜日	15:00～17:00
	3	卓球少年団	平山 翔一	平山 翔一	小学校体育館	毎月1～2回土曜日	10:00～12:00
	4	フットサル少年団	桜田 正考	桜田 正考	小学校体育館	毎週水曜日	17:30～19:00
	5	寿スキー少年団	長谷川克弘	野田 繁実	寿スキー場	シーズン中 土・日曜日、祝日	10:00～12:00 又は 13:00～15:00
	6	ミニバスケットボール少年団	石川 章人	石川 章人	小学校体育館	毎週金曜日	17:30～19:00
愛好会・サークル	1	卓球愛好会		武田 静子	町体育館	毎週月・火・木曜日	13:00～15:00
	2	ミニバレーを楽しむ会	小倉 弘	小倉 弘	町体育館	毎週金曜日	19:00～21:00
	3	バドミントン愛好会		五家 幸恵	町体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	4	ミニバレーボール愛好会	寺島 晴代	奥山 千秋	町体育館	毎週水曜日	19:00～21:00
	5	育児婦人運動部	休会中				
	6	スポーツしない会?	長谷川克弘	本間 智久	小学校体育館	毎週土曜日	19:00～21:00

教育関係団体活動状況

□文化団体関係

令和5年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
文化協会	1	やまなみ吟社(俳句)	武田 哲雄	武田 哲雄	創作活動施設ゆめくらぶ ※12～3月町民センター第1研修室	毎月第3水曜日	19:00～21:00
	2	日本詩吟学院岳風会 中頓別支部(詩吟)	小林奈々子	小林 嘉治	町民センター第1研修室	月1回	13:00～15:00
	3	茶道サークル		石井 佳美	町民センター茶室	毎週火曜日	13:00～15:30
	4	東海林社中(筆道)	休会中				
	5	陶芸サークル	姉齒 裕子	姉齒 裕子	創作活動施設ゆめくらぶ	5月～11月 第2・第4火・水曜日	13:00～15:00 19:00～21:00
	6	絵手紙クラブ	高橋 妙子	高橋 妙子	青少年柔剣道場研修室	第2・第4水・木曜日	水 19:00～21:00 木 13:00～15:00
	7	ミックスグループ	休会中				
	8	あかねカラオケサークル	休会中				
	9	知足会(茶道)	休会中				
	10	しあわせカラオケ会	天野 宣子	天野 宣子	町内各所	月1回	18:00～20:00
	11	彩北絵画クラブ(絵画)	東海林繁幸	東海林繁幸		随時	
	12	寿カラオケサークル		峰友恵美子	町民センター和室	毎週土曜日	13:00～16:00
	13	囲碁愛好会	岩田 利雄	杉本 吉春	町民センター和室	10月～3月 毎週火・木曜日	13:00～16:00
	14	中頓別吹奏楽団	水野 秀洋	水野 秀洋	創作活動施設ゆめくらぶ 町民センター 大ホール	毎週水曜日	18:00～21:00
	15	和太鼓団一雪峯一	パシオン・ダリン・英男	パシオン・ダリン・英男	町民センター 大ホール(ステージ)	毎週木曜日	19:00～21:00

□その他教育関連団体関係

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	主な活動内容
その他	1	読み聞かせボランティア サークル「このゆびと〜ま れ」	太田 美千代	郷土資料館	青少年柔剣道場研修室(和室)	絵本の読み聞かせ等のボランティア活動
	2	スピン会	石黒 由里子	石黒 由里子	地域づくり活動支援センター	羊毛による編み物